



2016 年度
豊岡市政策モニタリング調査
報 告 書

2016 年 7 月

豊岡市 政策調整課

2016 年度 豊岡市政策モニタリング調査 報告書

＜ 目 次 ＞

1	調査概要	1
2	調査結果	2
2-1	回答者の属性	3
2-2	安全・安心のまち	5
2-3	健康長寿のまち	8
2-4	環境に優しいまち	11
2-5	おもてなし観光のまち	13
2-6	交通の便利なまち	16
2-7	子育てに優しいまち	19
2-8	エコ農業のまち	21
2-9	住みたいと思うまち	24
3	参考データ	26
4	テクニカル・ノート	51
5	調査票	別添

1. 調査概要

1. 1 調査概要

豊岡市では、2013 年度より、より実効性の高い新たな行政評価の試みとして、「協働型プログラム評価（*豊岡市では「戦略的政策評価」と呼称）」を導入し、その評価活動の一環として、2014 年度より「政策モニタリング調査」を実施している。

下記 8 つの重点施策の進捗状況をモニタリングするため、昨年度に引き続き、今年度も調査を行った。なお、「住みたいと思うまち」は今年度の調査から新たに追加した政策である。

- | | |
|------------|--------------|
| ① 安全・安心のまち | ② 健康長寿のまち |
| ③ 環境に優しいまち | ④ おもてなし観光のまち |
| ⑤ 交通の便利なまち | ⑥ 子育てに優しいまち |
| ⑦ エコ農業のまち | ⑧ 住みたいと思うまち |

※来年度以降も、同じ調査票を用いて調査を行い、経年変化の分析を進める予定である。

1. 2 調査の目的

本年度の調査の主な目的は、以下の 5 点である。

- 8 つの取組み分野における市民の意識・行動に関する現状を把握すること
- 8 つの取組み分野における市民のニーズを分析すること
- 7 つの取組み分野における昨年度からの変化を分析すること
- ★ 過去 1 年間の取組みの成果と進捗状況を把握し、改善に向けての方策を検討するための材料として活用すること
- ★ 次年度の政策形成に向けて、市民のニーズを分析し、次年度の戦略体系図のロジックを批判的に検討するための材料として活用すること

1. 3 調査概要

（1）調査概要

本調査の実施概要は次表に示す通りである。

■ モニタリング調査の実施概要

区 分	摘 要
調査対象	市内在住の方から 18 歳以上の 3,000 人を無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収
調 査 日	平成 28 年 5 月 16 日～6 月 3 日（*6 月 8 日受付分までを有効票とした）
配布数/回収数	3,000 票/1,444 票（回収率 48.1％）
実施主体	豊岡市 ・ 担当：政策調整部政策調整課 行政改革係 ・ 電話：0796-21-9022

（2）集計及び分析

- ・ 集計及び分析は、「無回答」を除いた有効回答を対象に算出している。
- ・ 集計結果は小数点第 2 位を四捨五入しており、表示の比率の合計が 100％にならない場合がある。
- ・ 複数回答の設問（[MA]と表示）では、比率の合計が 100％を超える場合がある。

2. 調査結果

本章では、調査票から得られたデータの記述と分析を行う。各質問項目の記述統計については、「3. 参考データ」に度数テーブルを掲載しているので、随時参照されたい。また、2.2～2.9の主要政策ごとに【要点】を箇条書きにまとめ、継続調査となる2.2～2.8については【昨年度からの変化】を付記した。

昨年度からの変化を比較すると表1のような結果が得られた。表のうち、網掛けの質問項目は2015年と比較して統計的に有意な変化が見られた項目であり、改善した質問項目には『有[増]』、低下した質問項目には『有[減]』と記した。

表1：2015-2016年度データの比較（t検定）

		2015年 平均値	2016年 平均値	(2016- 2015) 平均値の差	統計的 有意性
安心・安全	問6：災害時「助け合い行動」がとれる	3.42	3.46	0.04	
	問7：防災訓練に参加したことがある	2.09	2.21	0.12	有[増]
	(問8：災害への備え・・・消火器、火災報知器など複数選択)				
健康長寿	問9：自分は健康だと思う	2.61	2.60	-0.01	
	(問10：健康づくりのところがけ・・・食生活、歯の健康など複数選択)				
	問11：健康のために運動をしている	2.42	2.40	-0.02	
	問12：運動を継続している	3.35	3.51	0.16	有[増]
	問13：健康づくりをする仲間がいる	2.49	2.52	0.03	
	問14：健康づくりの環境が整っている	2.79	2.87	0.08	
環境	問15：豊岡市は環境に優しいまちだ	3.21	3.21	0.00	
	問16：豊岡市は経済的に豊かになっている	2.32	2.34	0.02	
	問17：日常生活で省エネを意識している	3.71	3.66	-0.05	
	問18：環境に配慮した商品を購入している	3.20	3.17	-0.03	
	問19：環境への取組みは経済にもプラスだ	3.40	3.44	0.04	
おもてなし	問20：豊岡市は観光客で活気あるまちだ	2.54	2.64	0.10	有[増]
	問21：自分の地域にもっと観光客が来てほしい	3.57	3.54	-0.03	
	問22：市外の人に豊岡を観光先として勧めたい	3.41	3.42	0.01	
	問23：観光ボランティアに関わってみたい	2.57	2.50	-0.07	
	(問24：豊岡市の魅力的な観光資源・・・城崎温泉、城下町出石など順位選択)				
交通	問25：豊岡市の公共交通は便利だ	2.13	2.13	0.00	
	問26：公共交通を使うよう心がけている	2.14	2.03	-0.11	有[減]
	(問27：必要な公共交通・・・バス、タクシーなど順位選択)				
子育て	(問28：ビジネス・レジャーの主な移動手段・・・鉄道、バスなど選択)				
	問29：豊岡市は子育てに優しいまちだ	2.94	2.94	0.00	
	問30：子育てボランティアに関わってみたい	2.79	2.78	-0.01	
	問31：市の子育て支援サービスを活用している	3.08	3.09	0.01	
	問32：子育てを楽しんでいる	3.33	3.30	-0.03	
環境農業	問33：無農薬・減農薬志向	3.42	3.42	0.00	
	問34：コウノトリの舞認知度	2.03	2.10	0.07	

注釈）下記に例示するよう回答を点数化し、平均点を算出した。

（とてもそう思う：5点、そう思う：4点、分からない：3点、思わない：2点、全く思わない：1点）

2.1 回答者の属性

アンケートに回答いただいた回答者の男女比は、男性 46.1%、女性 53.9%であり、女性の方がやや多いものの、男女比はほぼ均衡しているといえる【図1】。

年齢【図2】は下図のとおり分布しており、60代が最も多く全体の25.7%を占めていた。なお、10代が1.2%と低かったが、これはモニタリング対象を18歳以上としたことの影響である。

回答者の職業【図3】では、主婦(23.7%)と会社員(20.6%)が多かった。なお、その他(22.0%)の回答者も非常に多かったが、この中には、無職・年金生活も含まれている。

図1：性別(%)

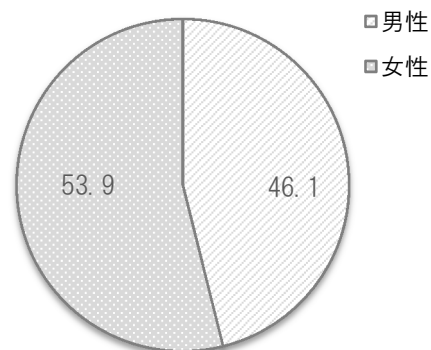


図2：【問2】あなたの年齢は？

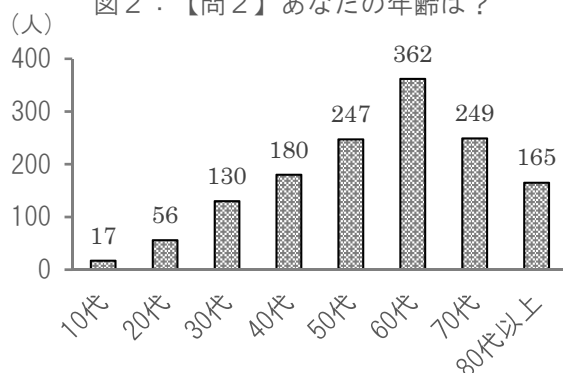


図3：【問3】あなたの職業は？

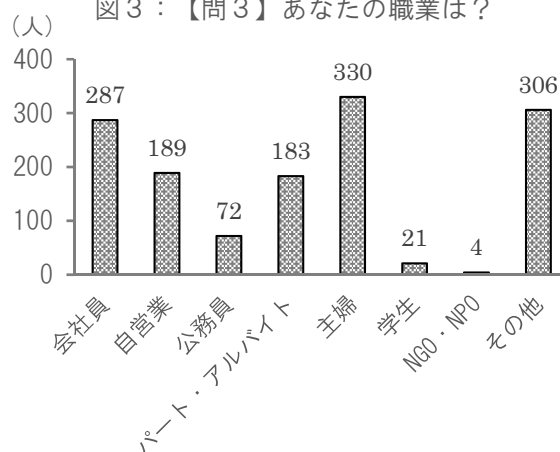
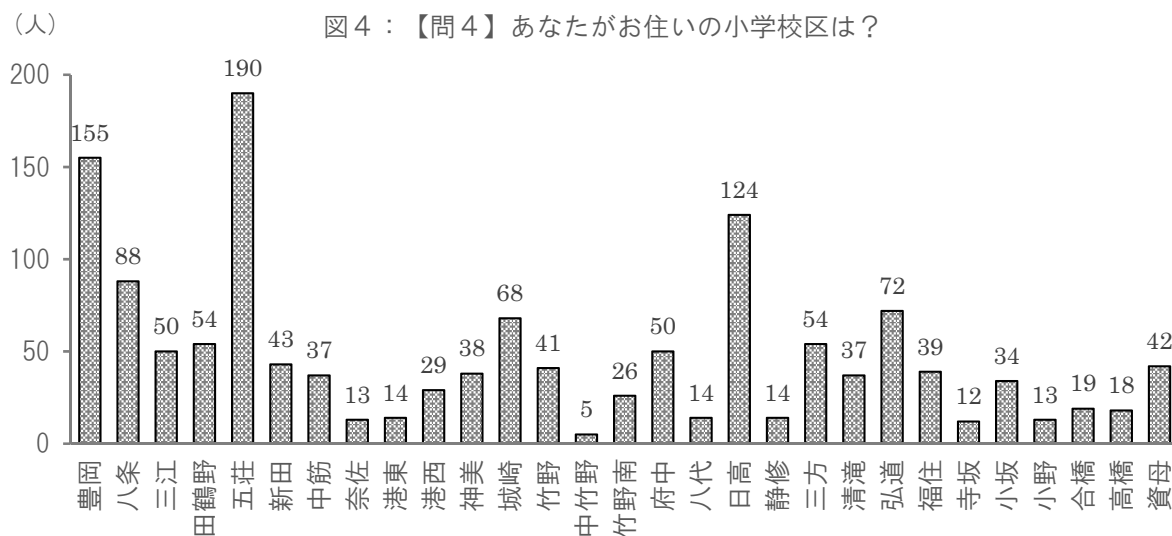
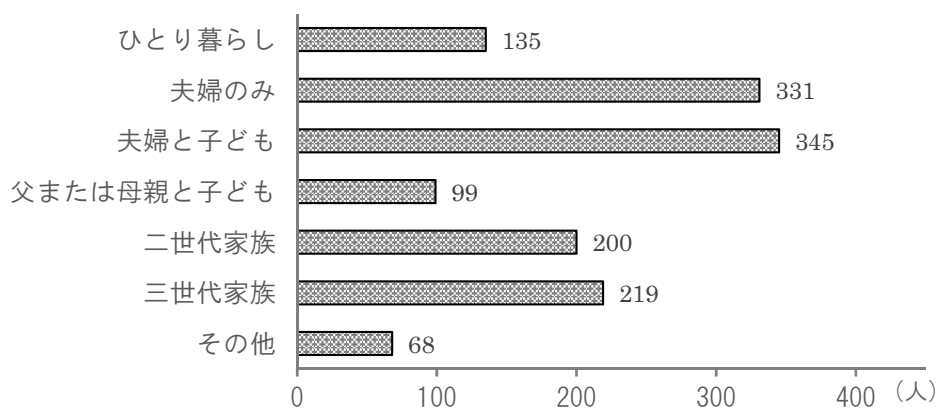


図4：【問4】あなたがお住いの小学校区は？



回答者の家族形態は、夫婦のみ（23.7%）、夫婦と子ども（24.7%）で全体の半数近くを占めていた。小学生以下の子どもがいると回答した市民の、その世帯の平均子ども数（小学生以下）は、1.6人であった（昨年度 2.1人）【図5】。

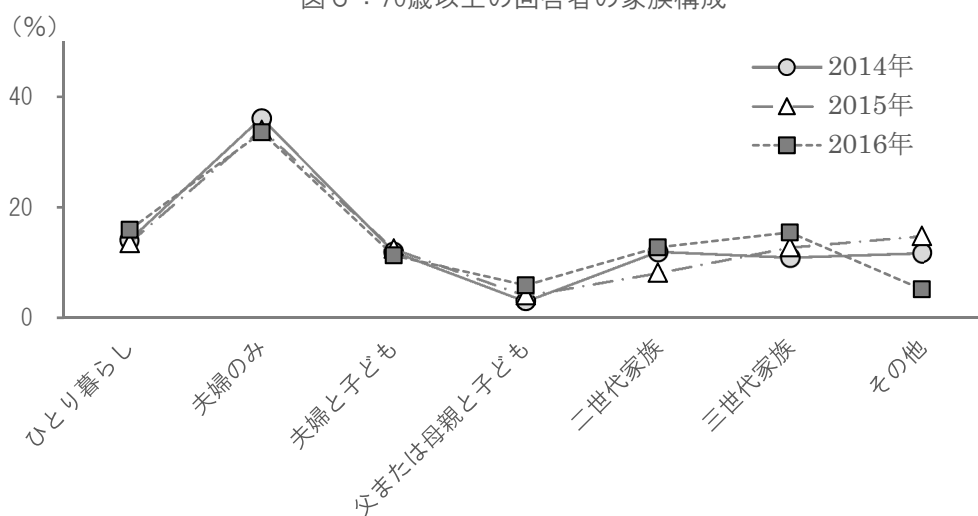
図5：【問5】あなたの同居家族の構成は？



全回答者から、【問2】で「⑦70代」、「⑧80代以上」と回答したデータを抽出し、同居家族の構成を再集計したところ、下図の結果を得た。2016年データでは、ひとり暮らし（15.9%）、夫婦のみ（33.6%）で全体の約半数近くを占めていた【図6】。全回答者での割合は、ひとり暮らし（9.3%）、夫婦のみ（22.9%）で合計 32.2%にとどまっていることから、70代以上では、単身或いは夫婦のみの世帯の占める割合が、他の世代よりも多いことが分かった。施策の展開にあたっては、老年世帯に配慮した取組みが必要である。

なお、この傾向は過去の調査結果と同様であった。

図6：70歳以上の回答者の家族構成



2.2 「安全・安心のまち」

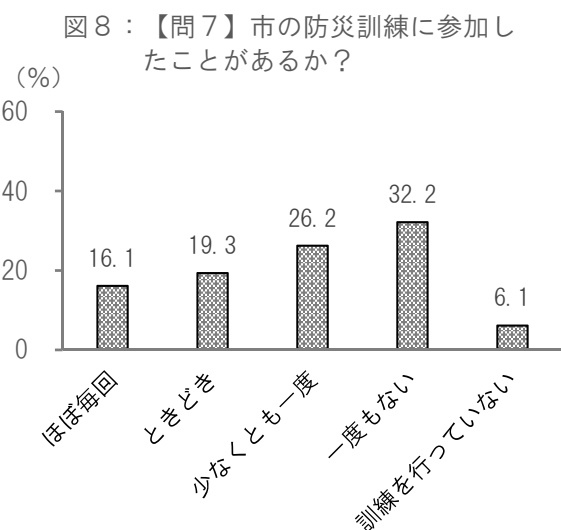
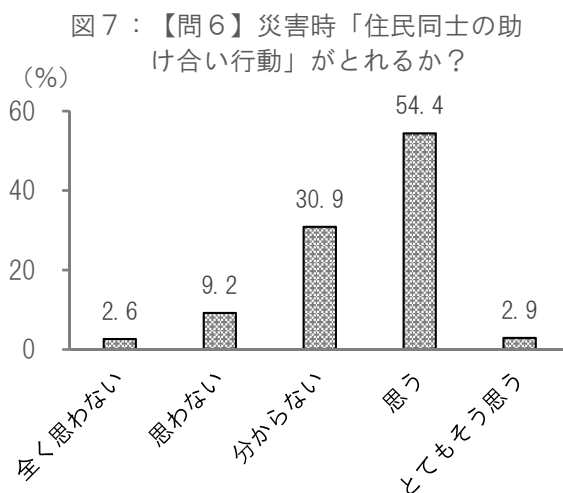
【要点】

- ・「助け合い行動」に対する意識と、防災訓練への参加経験の間には統計的に優位な関係がある。
- ・「助け合い行動」に対する前向きな意識を持っている市民および防災訓練に参加したことがある市民は、全市民の半数強である。
- ・若年層は、他の世代と比較して防災訓練参加率が低い。

【昨年度からの変化】

- ・【問7】「訓練に参加したことがある」市民は、統計的に優位に増加している ($t=2.7, p<0.01$)。
- ・【問6】については、昨年度と比較して統計的に優位な差は見られなかった。但し、2014年との比較では統計的に優位に増加している ($t=2.9, p<0.01$) ことから、緩やかに改善していると判断できる。

災害時の「助け合い行動」について、半数以上 (57.3%) の市民が「助け合い行動がとれると思う」と回答しており【図7】、各区が実施する防災訓練に、少なくとも一度は参加したことがある市民も半数を超えている【図8】。



また、昨年度と同様に「助け合い行動がとれると思う」という意識と、防災訓練への参加経験の間には、統計的に有意な相関関係が見られた ($r=0.23, p<0.01$)。これは、「助け合い行動」への意識の高さと、訓練への参加頻度の高さには相互に関係があり、一方が高いと他方も高まる傾向があることを意味している。

昨年度から、これまで防災訓練に参加したことがない層への防災意識向上を目的に「全市民を対象とした区単位の防災訓練」を新たに開始した。今年度の調査結果では、防災訓練に参加したことがあると回答した市民の数は昨年度と比較して統計的に有意に増加しており ($t=2.7, p<0.01$)、新たな取組みに一定の成果があったと判断できる。

しかし、「助け合い行動がとれると思う」という意識は昨年度と比較して統計的に有意な差は見られなかった。市民意識の変化には時間を要するため、今後の「助け合い意識」の変化について引き続きモニタリングしていく必要がある。

訓練への参加経験の有無を基準にしたグループ間で、年齢や「助け合い意識」の傾向に違いが

あるかを調べるため、以下のようなクロス表を作成し、カイ 2 乗検定を行ったところ、いずれも「不参加」グループと「参加」グループの間に統計的に有意な差が認められた【表 2、表 3】。

また、t 検定により「不参加」グループの年齢は「参加」グループの年齢よりも統計的に有意に低い ($t=-8.2$, $p<0.01$) という事実と、「不参加」グループの助け合い意識は「参加」グループの意識よりも統計的に有意に低い ($t=-8.2$, $p<0.01$) という結果を得た。

なお、これらの傾向は、昨年度の調査結果でも同様に認められている。

表 2：防災訓練への参加度数と年齢

		【問 7】防災訓練への参加		合計
		不参加	参加	
【問 2】 年齢	10 代	11	6	17
	20 代	46	10	56
	30 代	96	34	130
	40 代	79	101	180
	50 代	83	164	247
	60 代	96	266	362
	70 代	80	169	249
	80 代以上	68	97	165
合 計		559	847	1406

表 3：防災訓練への参加度数と有事の際に助け合い行動がとれると思うか

		【問 7】防災訓練への参加		合計
		不参加	参加	
【問 6】 助け合える	全く思わない	25	12	37
	思わない	66	63	129
	分からない	227	207	434
	思う	214	550	764
	とてもそう思う	12	29	41
合 計		25	12	37

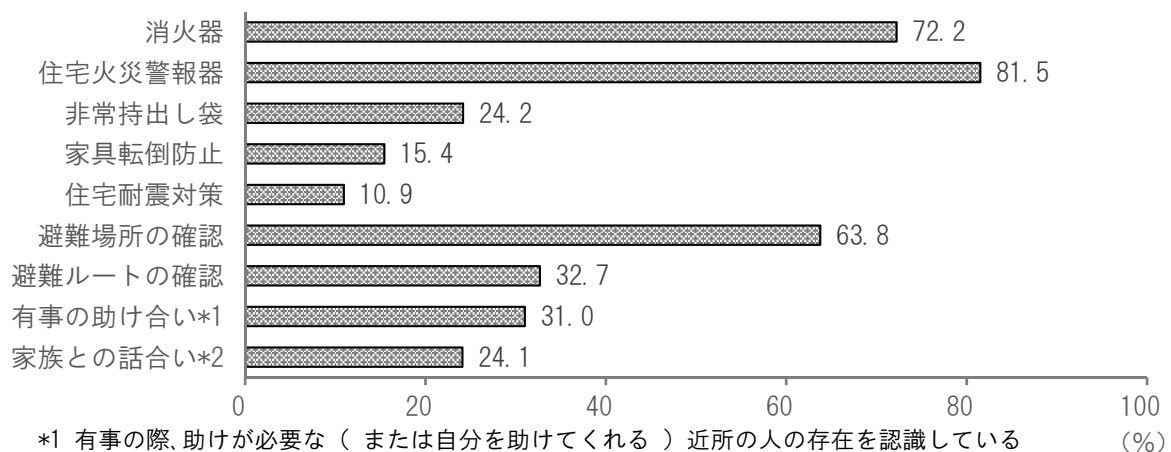
表 3：カイ 2 乗=93.6 (df=4, $p<0.01$)

表 2：カイ 2 乗=147.4 (df=7, $p<0.01$)

「災害への備え」に関する設問についても、全体的に昨年度と同様の結果であった。「消火器の設置」、「住宅火災警報器の設置」、「避難場所の確認」を実践していると回答した市民の割合は高く、7 割を超える市民が実践しているが、「家具の転倒防止」、「耐震診断」の実践は 2 割未満にとどまっている【図 9】。

また、訓練への参加・不参加でグループに分類して再集計したところ、下記の図のとおりであった。全ての項目について、「参加」グループの実践割合は「不参加」グループの実践割合よりも高いという結果であった【図 9-2】。

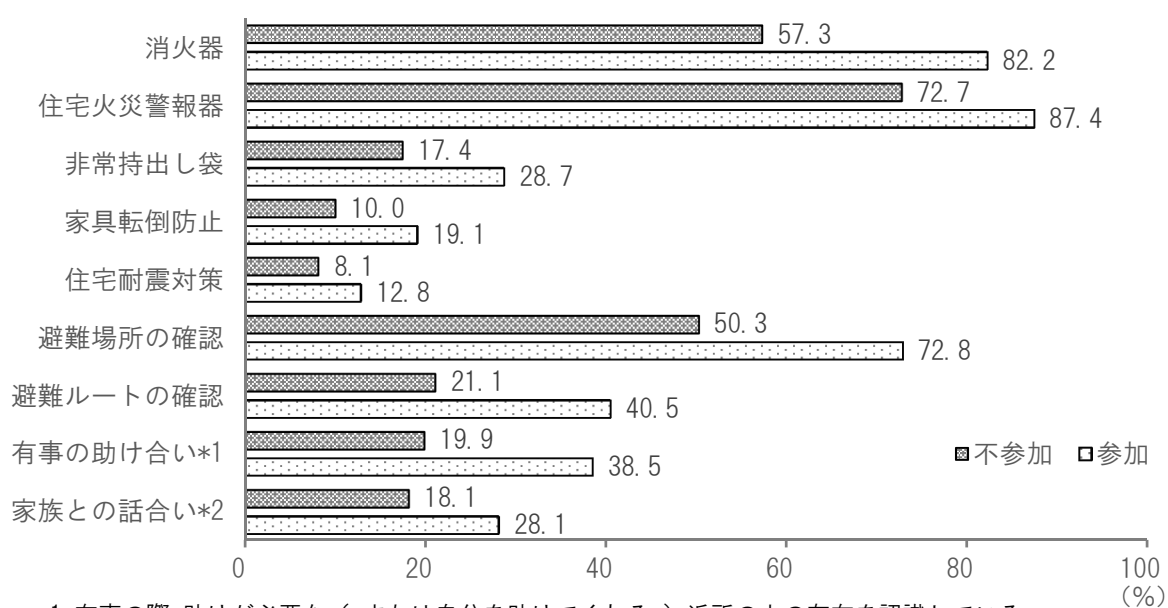
図 9：【問 8】災害への備えを実践しているか？ [MA]



*1 有事の際、助けが必要な（または自分を助けてくれる）近所の人や存在を認識している

*2 有事の際の避難行動（避難場所や連絡の方法など）について、家族と話し合っている

図 9-2：【問 8】災害への備えを実践しているか？〈訓練参加経験別〉 [MA]



*1 有事の際、助けが必要な（または自分を助けてくれる）近所の人是否存在を認識している

*2 有事の際の避難行動（避難場所や連絡の方法など）について、家族と話し合っている

2.3 「健康長寿のまち」

【要点】

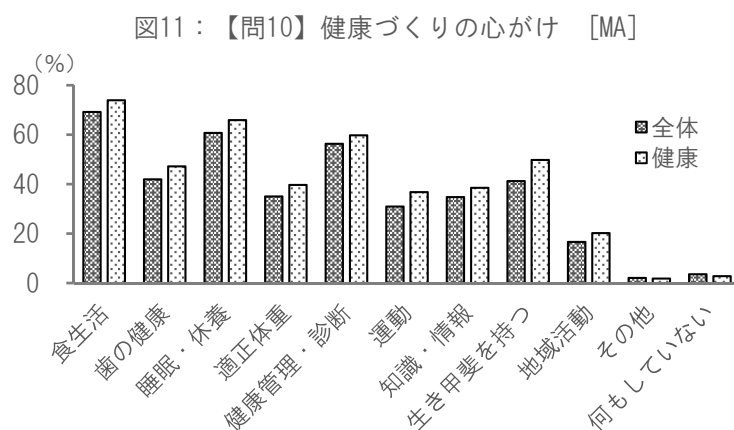
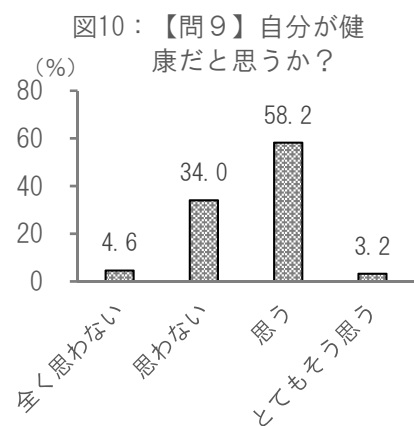
- ・60%以上の市民が「自分が健康だと思う」と感じている。
- ・運動習慣者は男性31.4%、女性27.3%存在し、全国の平均とほぼ合致している。
- ・健康意識、健康づくりの仲間の存在、運動環境の認知に関し、運動習慣者に該当するグループと該当しないグループでは統計的に有意な差が見られ、運動習慣者の方が良好な値を示している。

【昨年度からの変化】

- ・【問12】運動を継続している市民の数は、統計的に優位に増加している（ $t=2.9$ 、 $p<0.01$ ）。これは、昨年度の数値が大きく減少していたためであり、一昨年と比較した場合では数値に僅かな改善があるものの、統計的に優位な差は認められていない。
- ・【問9、11、13、14】については、昨年度と比較して統計的に優位な差は見られなかった。政策効果の発現には時間を要するため、今後の経過をモニタリングしていく必要がある。

現在の健康状態について、約60%の市民が「健康だと思う（そう思う・とてもそう思う）」と回答しており【図10】、「健康だと思う」と回答した市民は、回答者全体に比べて、「健康づくりの心がけ」の全ての項目において、高い割合で「心がけ」を実践していることが分かった【図11】。

また、「何もしていない」と回答した市民は全体でも3.6%にとどまっており、大多数の市民が何らかの「心がけ」を実践していることが分かった。



健康維持・増進のための運動習慣については、「1日30分以上の運動を週2日以上」を行っている市民は40.6%、一方、30分以上の運動を「していない」市民は45.8%であった。また、運動を行っている市民のうち、その運動を1年以上継続しているのと回答した市民は75.5%であり、高い継続性が見られた。

運動頻度と継続期間の関係を更に詳しく見るため、【表4】のとおりクロス表を作成した。「1日30分以上の運動」を行っている市民のその継続期間ごとの分布を見ると、全てのケースで1年以上継続している市民の割合が最も多いことが分かった。

また、運動頻度と継続期間の間には正に有意な相関が認められており（ $r=0.24$ 、 $p<0.01$ ）、これらのことから、運動習慣を持たない市民（週1日以下・していない）の割合は高い（59.5%）ものの、運動を始めるきっかけを提供することにより、運動を継続する市民が増加する潜在性があることが分かった。

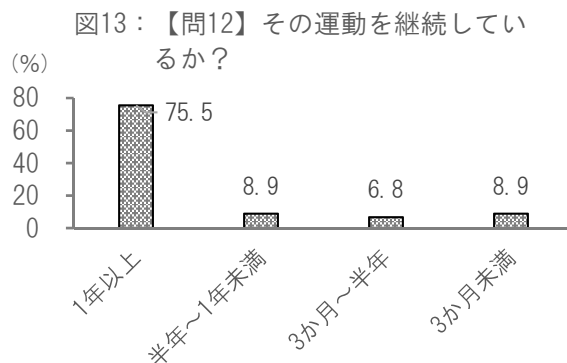
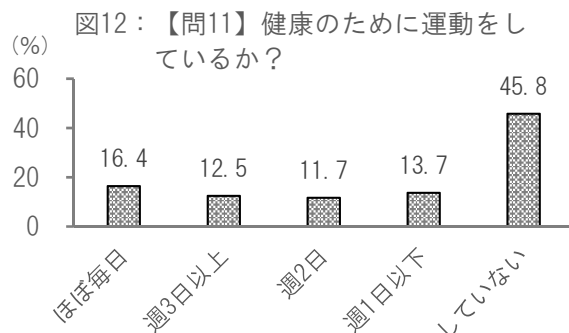


表4：運動習慣とその継続期間

(単位：％、n=707人)

		⑫継続期間				合 計
		～3 か月	～6 か月	～1 年	1 年以上	
⑪運動頻度	週1日以下	4.7	1.3	3.0	15.7	24.6
	週2日	2.4	2.3	2.4	14.9	21.9
	週3日以上	0.8	2.3	2.4	17.8	30.1
	ほぼ毎日	1.0	1.0	1.0	27.2	30.1
合 計		8.9	6.8	8.8	75.5	100.0

次に、【問11】・【問12】の回答から運動習慣者を抽出し、その3年間の推移を下図に示した(※運動習慣者：「週2回以上、1回30分以上、1年以上、運動をしている者」)。2016年度の数値では、男性31.4%、女性27.3%であった【図14】。厚生労働省ホームページで公開されている平成26年「国民健康・栄養調査」の結果では、男性31.2%、女性25.1%であり、本市はほぼ全国平均と同等であることがわかった。

なお、地域別の運動習慣者の分布に統計的に有意な差は認められなかった【図15】。

図14：運動習慣者の推移

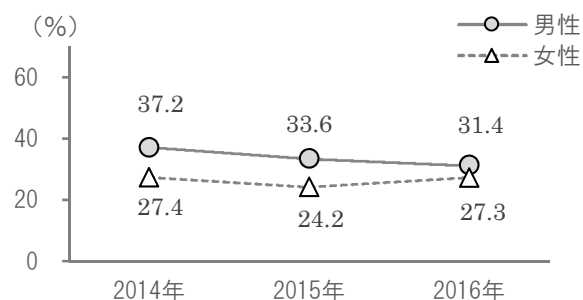
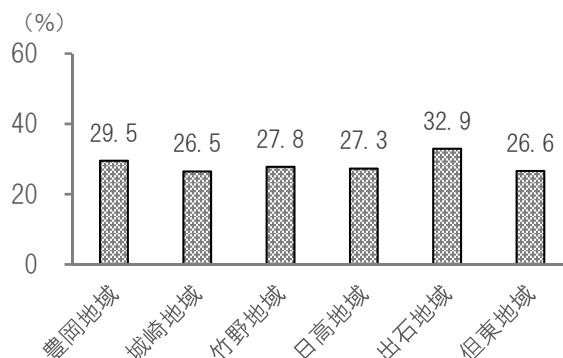
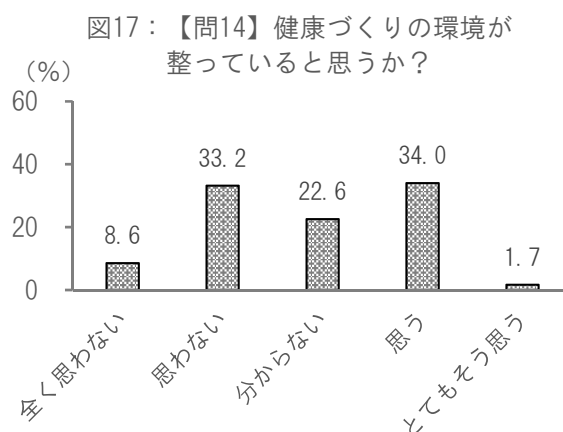
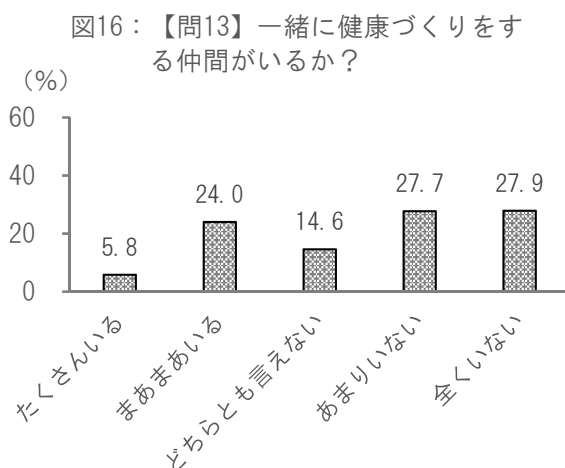


図15：地域別の運動習慣者



「健康づくりをする仲間がたくさんいる・まあまあいる」という市民は30%弱で、「あまりいない・全くいない」という回答は半数を超えた【図16】。また、身近に健康づくりのできる環境があると感じている市民は約36%であるのに対し、そう感じない市民は約42%であった【図17】。



運動習慣者に該当するグループと該当しないグループの傾向を比較すると、表5から表7のようなクロス表が得られた。

「健康意識」、「運動する仲間の存在」、「運動する環境」のいずれにおいても、運動習慣者に該当するグループは該当しないグループとの間に統計的に有意な差があることが明らかになり ($t=5.8$, $p<0.01$; $t=10.1$, $p<0.01$; $t=4.5$, $p<0.01$)、運動習慣者に該当するグループの方が、健康意識が強く、一緒に健康づくりをする仲間も多く、運動する環境が整っていると感じる傾向が強いことが分かった。

表5：運動習慣と健康意識

		運動習慣者		合計
		非該当	該当	
⑪ 健康意識	全く思わない	51	13	64
	思わない	377	101	478
	思う	530	287	817
	とても思う	26	19	45
合計		984	420	1404

カイ 2 乗値=34.3 (df=3, $p<0.01$)

表6：運動習慣と仲間の存在

		運動習慣者		合計
		非該当	該当	
⑬ 仲間の存在	全くいない	309	66	375
	あまりいない	295	78	373
	どちらとも言えない	149	47	196
	まあまあいる	178	145	323
	たくさんいる	30	48	78
	合計	961	384	1345

カイ 2 乗値=118.6 (df=4, $p<0.01$)

表7：運動習慣と運動する環境

		運動習慣者		合計
		非該当	該当	
⑭ 運動する環境	全く思わない	88	31	119
	思わない	345	116	461
	分らない	253	60	313
	思う	280	192	472
	とても思う	17	6	23
合計		983	405	1388

カイ 2 乗値=49.6 (df=4, $p<0.01$)

2.4 「環境に優しいまち」

【要点】

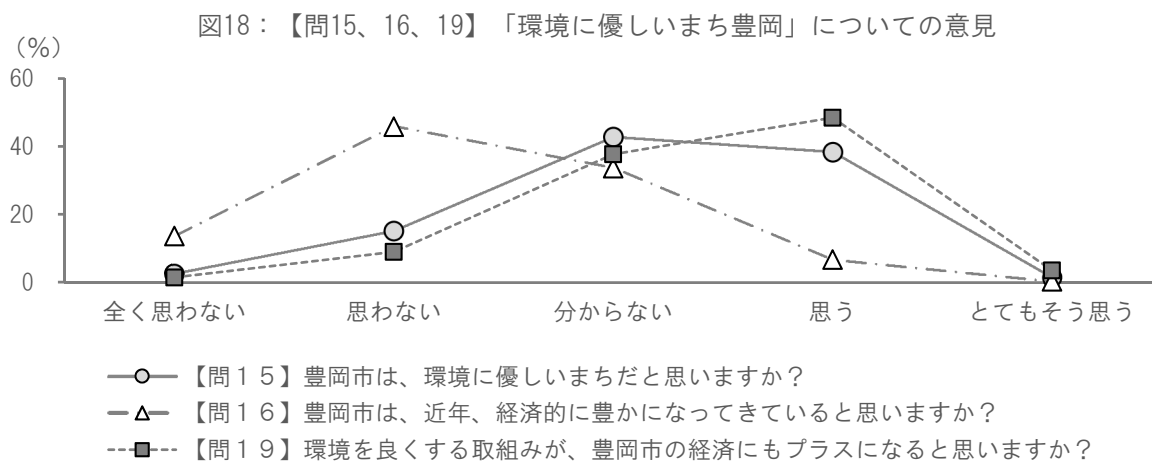
- ・環境行動に前向きに取り組んでいる市民は多い。
- ・豊岡市が経済的に豊かになってきていると感じる市民は少ない。
- ・「省エネ意識」や「環境商品の購入」などの環境行動に関して、世代別の傾向を比較すると統計的に有意な差が認められる。

【昨年度からの変化】

- ・【問 15～19】については昨年度と比較して統計的に優位な差は見られなかった。しかし、一昨年と比較した場合、【問 17】省エネ意識、【問 18】環境商品の項目について、統計的に有意な低下が認められた ($t=-3.2$, $p<0.01$; $t=-3.4$, $p<0.01$)。これが一時的な変化であるのかどうかを見極めるため、今後の経過をモニタリングしていく必要がある。

「環境に優しいまち」を目指す豊岡市に対する市民の意識を調査した結果、以下のような声が聞かれた。グラフ上、「思う」という肯定的な意見が目立つのが、「豊岡市が環境に優しいまちである」と「環境への取組みが市の経済にもプラスになる」という考え方への賛同である。一方、「経済的に豊かになってきている」という経済感覚については「思わない」という否定的な意見が目立っている【図 18】。

しかし、いずれの項目も「分からない」という回答が3～4割程度あり、これらの層に対する効果的な施策を実施できれば、大きく改善することが期待できる。

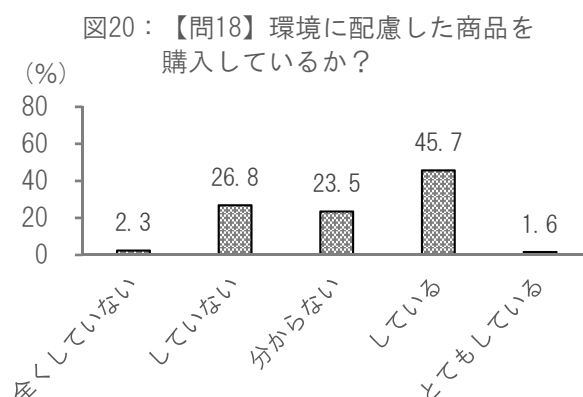
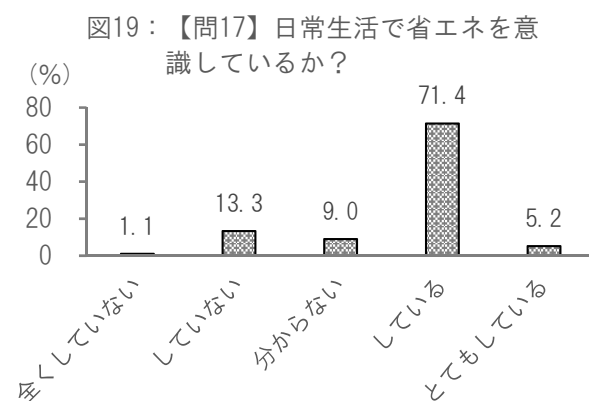


市民の日常の環境行動について尋ねたところ、次図の結果を得た。「省エネを意識している・とでもしている」と答えた市民は 76.6%に達しているが、「環境商品を意識して購入している・とでもしている」と回答した市民は 47.3%とやや低い結果となっている【図 19、図 20】。このことから、総じて環境行動に取り組んでいる市民は多いものの、比較的容易に取り組める「日常的な省エネ」行動に比べると、「環境商品の購入」行動はハードルが高いことが読み取れる。

「日常的な省エネ」と「環境商品の購入」行動に関し、男女間のグループ別に回答を比較分析（ t 検定）した結果、それぞれ、女性の方が統計的に有意に高いことが示された ($t=4.1$, $p<0.01$; $t=4.3$, $p<0.01$)。今後の環境行動の向上に関する施策推進においては、男性を主なターゲットとした取組みを検討する必要がある。

なお、「日常的な省エネ」と「環境商品の購入」行動に関して経年比較を行ったところ、昨年度

と比較した場合では統計的に有意な差が認められなかったが、ベースライン調査時点（2014 年）の数値と比較すると、統計的に有意な低下が認められた（ $t=-3.2$ 、 $p<0.01$ ； $t=-3.5$ 、 $p<0.01$ ）。



更に、「省エネ意識」と「環境商品の購入」といった環境行動に関して世代ごとの傾向を比較すると、次のようなクロス表が得られた。いずれについても、世代間における傾向には統計的に有意な差が認められた。

次に、残差分析を用いて「省エネ意識」に関する世代間の傾向についてどこに有意差があるか判定したところ、「意識していない」とした若年層が多く、「意識している」とした若年層が少ないことが分かった【表8】。同様に「世代と環境商品購入」について判定したところ、「全くしていない」とした若年層が多く、反対に「している」とした若年層が少ないこと、一方で、「していない」とした老年層が少なく、反対に「している」とした老年層が多いことが分かった【表9】。

これらのことから、「省エネ意識」に関して若年層は他の世代と比較して低く、「環境商品の購入」では若年層の意識が低く、老年層が高いという傾向があると判断できる。

表8：世代と省エネ意識

			世 代			合計
			若年層	壮年層	老年層	
【17】省エネ意識	全くしていない	度数	2	10	3	15
		調整済残差	1.4	0.1	-0.8	
	していない	度数	18	120	47	185
		調整済残差	2.9**	-0.2	-1.2	
	分からない	度数	9	79	38	126
		調整済残差	1.0	-0.7	0.3	
	している	度数	43	646	296	985
		調整済残差	-2.4*	-0.1	1.2	
	とてもしている	度数	1	52	18	71
		調整済残差	-1.5	1.4	-0.7	
合 計			73	907	402	1382

カイ 2 乗値=16.0 (df=8、 $p<0.05$)

注)調整済残差… **. 1%水準で有意 *. 5%水準で有意

表 9：世代と環境商品購入

			世代			合計
			若年層	壮年層	老年層	
【18】環境商品の購入	全くしていない	度数	7	19	6	32
		調整済残差	4. 2**	-0. 8	-1. 3	
	していない	度数	29	261	79	369
		調整済残差	2. 5*	2. 2*	-3. 6**	
	分からない	度数	14	209	100	323
		調整済残差	-0. 9	-0. 6	1. 0	
	している	度数	23	404	202	629
		調整済残差	-2. 5*	-1. 3	2. 6**	
	とてもしている	度数	0	14	7	21
		調整済残差	-1. 1	0. 1	0. 5	
合計			73	907	394	1374

カイ 2 乗値=39.1 (df=8、p<0.01)

注)調整済残差… **、1%水準で有意 *、5%水準で有意

2.5 「おもてなし観光のまち」

【要点】

- ・多くの市民が、観光地としての発展を願っている。
- ・豊岡市の魅力的な観光資源として、最も多くの支持を集めたのは、城崎温泉・出石城下町・コウノトリであった。また、城崎温泉は、市内の全ての地域から高い支持を集めている。
- ・「現在観光ボランティアに関わっている」市民は5.1%、「機会があれば関わりたい」と考えている市民は14.3%と非常に少数である。

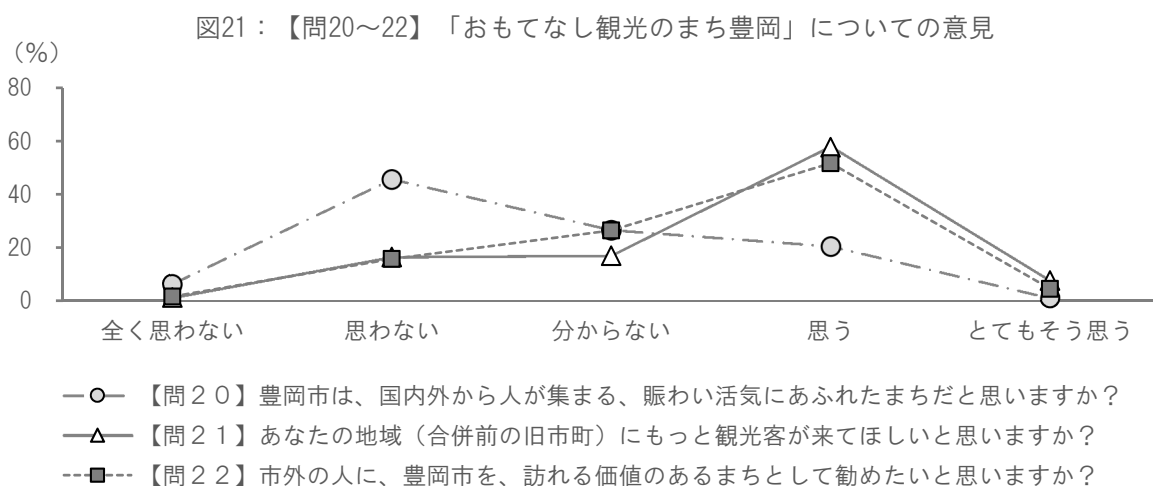
【昨年度からの変化】

- ・【問20】豊岡市は観光客で活気あるまちだという意識は、昨年度と比較して統計的に有意に増加している（ $t=2.9$ 、 $p<0.01$ ）。
- ・【問21～23】については昨年度と比較して統計的に優位な差は見られなかった。政策効果の発現には時間を要するため、今後の経過をモニタリングしていく必要がある。

「観光地としての豊岡」についての市民の意識等を調査した結果、【図21】のような傾向が見られた。現在の豊岡について、「観光客の集まる活気にあふれたまちと思うか？」という問いに対しては、「思わない」という否定的な意見が目立っている。反対に、「もっと観光客が来てほしいか?」、「市外の人に観光地として勧めたいか?」という問いに対しては「思う」という意見が目立っている。

これらから、多くの市民が、豊岡が今以上に観光地として賑わう余地を感じており、観光地としての発展を願っていることが分かる。

なお、市民意識の変化をみるためにt検定を実施した結果、「もっと観光客が来てほしい」、「市外の人に観光地として勧めたい」という意見に関しては、昨年度と比較して統計的に有意な差は見られなかったが、「観光客の集まる活気にあふれたまちと思う」という意見については統計的に有意に増加していることが分かった（ $t=2.9$ 、 $p<0.01$ ）。



現在、仕事あるいはボランティアとして観光客への「おもてなし」活動に関わっていると回答した市民は5.1%であり、昨年度の3.8%から若干増加した【問23】。

また、現在「おもてなし」活動に関わっていないと回答した市民のうち、機会があれば関わってみたい（思う・とても思う）と答えた市民は14.4%と低い結果であった。観光地として発

展することに対する市民の期待は大きい、積極的に「おもてなし」関わるという意識までは育っていないことが伺える。

地域別の市民意識・傾向を見るために、【問 20～24】の回答から肯定派（思う・とても思う）・意見留保（分からない）・否定派（思わない・全く思わない）の3区分に再集計したところ、下図を得た【図 22～図 26】。

「豊岡は観光客で賑わうまちだ」に対し肯定派の割合が最も高いのは城崎地域（66.7%）であり、また、留保が他地域と比較して極めて少ない（9.5%）という特徴がある。逆に、最も肯定派の割合が低いのは但東地域（6.8%）であった。

「もっと観光客に来てほしい」、「豊岡観光を勧めたい」と考える市民の割合は全体的に高い結果であった。

図22：豊岡は観光客で賑わうまちだ

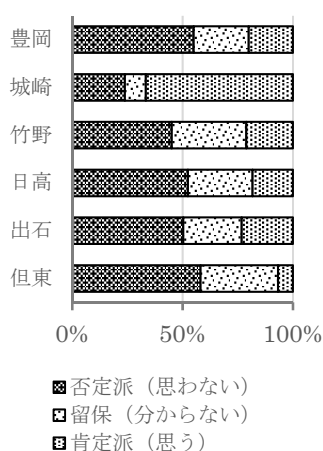


図23：もっと観光客に来てほしい

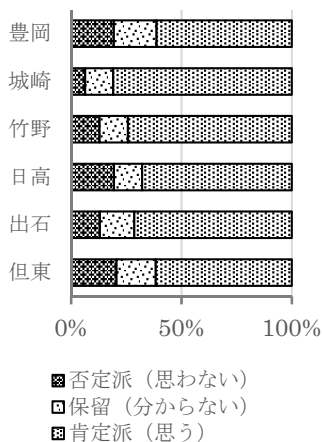
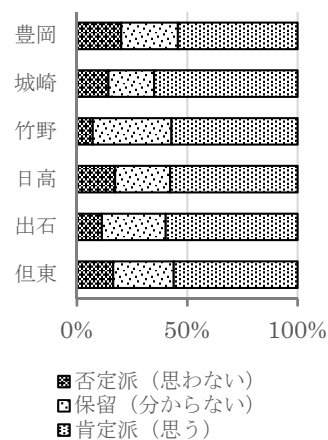


図24：豊岡観光を勧めたい



現在「おもてなしに関わっている」という回答の割合が高かったのは城崎地域（19.4%）、竹野地域（10.0%）であった。なお、小学校区単位で見た場合では、中竹野（40.0%）が最も高く、城崎（19.4%）、清滝（13.5%）と続いており、観光地を抱える学区での割合が高いという傾向が見られた。（*但し、中竹野については標本数が少ない（5件）ため参考とする。）

また、城崎地域・竹野地域については、現在関わっていない市民のうち「機会があればおもてなしに関わりたい」と考えている市民の割合も他地域と比較して高く、それぞれ 19.6%、20.0% であった。

図25：現在「おもてなし」に関わっている

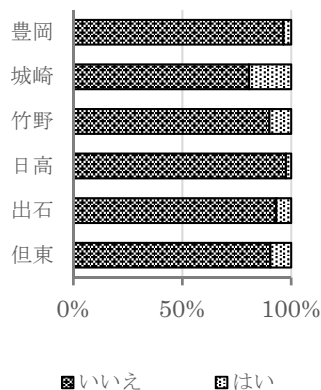
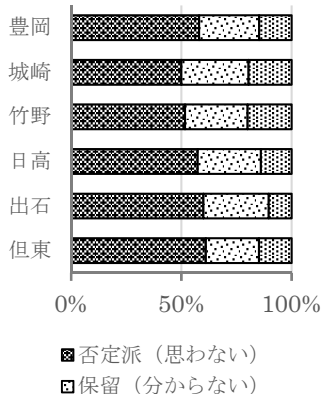


図26：機会があれば「おもてなし」に関わりたい



豊岡市の魅力的な観光資源に関しては、「城崎温泉」、「出石城下町」、「コウノトリ」が昨年までと同様に多くの支持を集めた【図 27、図 28】。

次に、支持の多かった観光資源（支持率 20%以上を抽出）について地域ごとに再集計したところ、【図 29】の結果を得た。「城崎温泉」は全ての地域で高い支持を集めており、幅広い層の市民が、豊岡市を代表する観光資源と考えていることが分かる。

図27：【問24】豊岡市の魅力的な観光資源

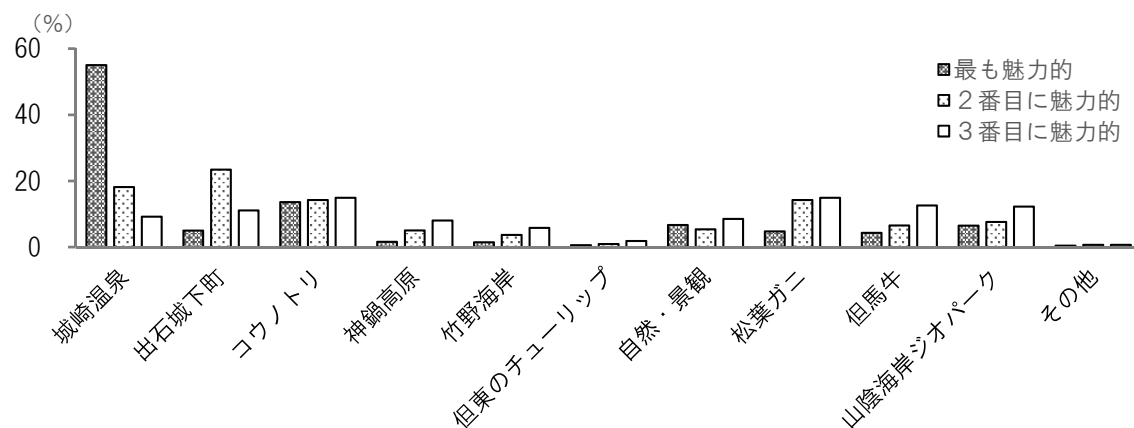


図28：【問24】豊岡市の魅力的な観光資源 [MA]

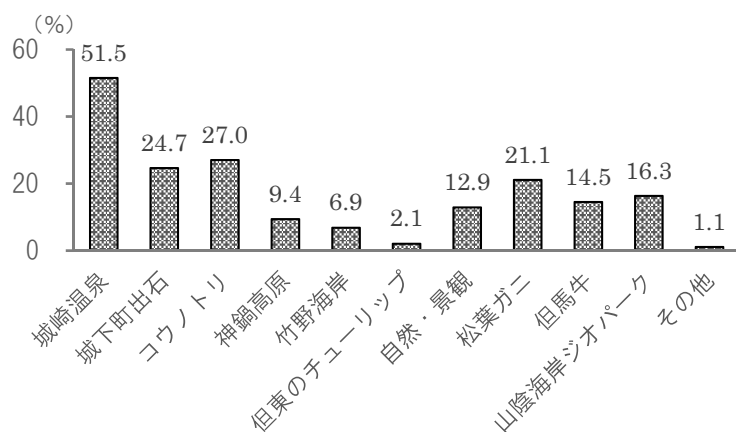
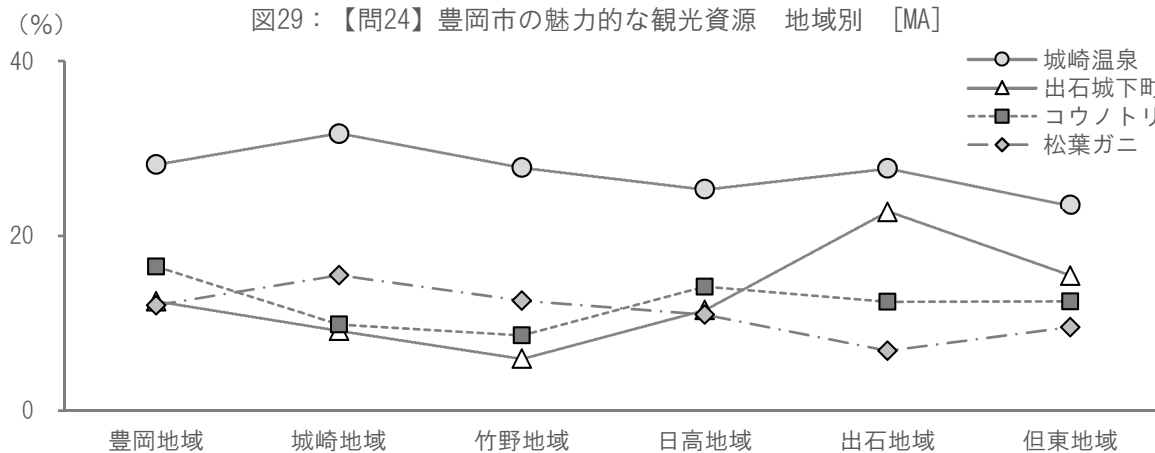


図29：【問24】豊岡市の魅力的な観光資源 地域別 [MA]



2.6 「交通の便利なまち」

【要点】

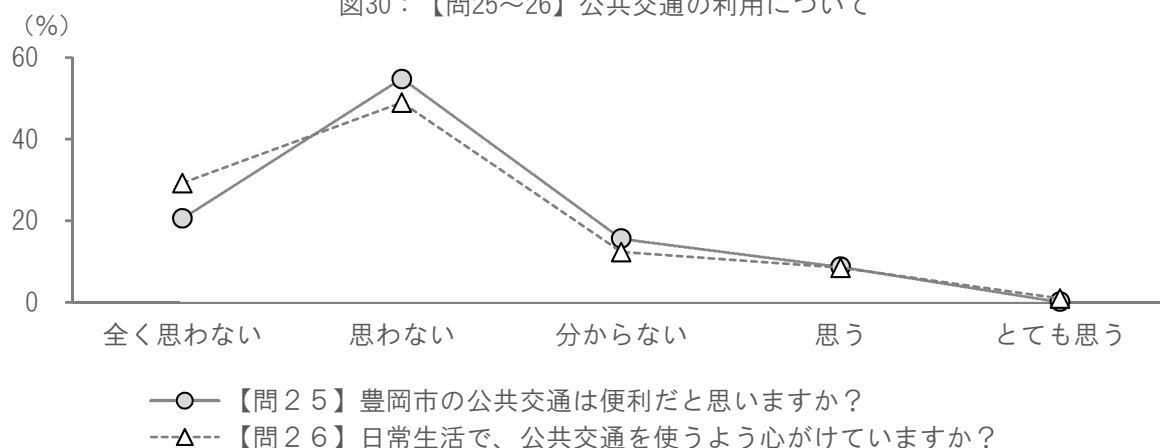
- ・豊岡の公共交通が便利と感じ、公共交通を使うよう心掛けている市民は 10%未満と少数であった。
- ・市民にとって最もニーズの高い公共交通はバスと鉄道であるが、補助的な公共交通としてタクシーのニーズも高い。
- ・世代や地域によって、公共交通のニーズに違いがある。

【昨年度からの変化】

- ・【問 26】公共交通を使うよう心がけているという意見は、昨年度と比較して統計的に有意に低下している ($t=-3.1$, $P<0.01$)。
- ・【問 25】については、昨年度と比較して統計的に有意な差異は認められなかった。政策効果の発現には時間を要するため、今後の経過をモニタリングしていく必要がある。

豊岡市の公共交通が便利だと感じている市民は、昨年同様に 10%弱であった【図 30】。また、公共交通を使うよう心がけていると答えた市民も 9.4%にとどまり、昨年の 12.3%と比較して 2.9 ポイント減少した。なお、この減少幅は、統計的に有意な差であることを t 検定により確認した ($t=-3.1$, $p<0.01$)。

図30：【問25～26】公共交通の利用について



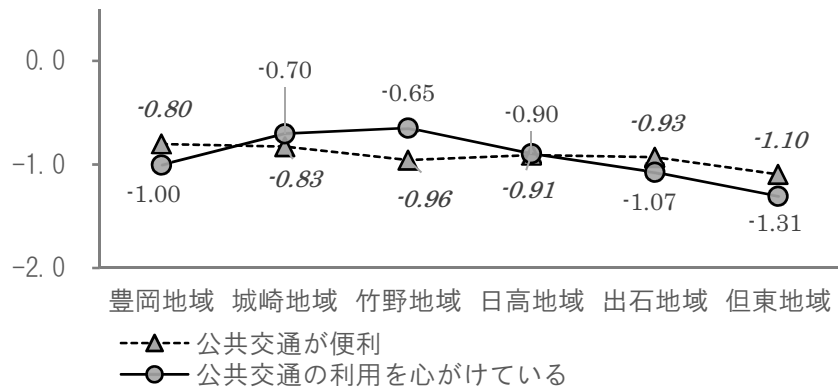
次に、公共交通の利用に関して地域別の傾向を把握するため、【問 25、26】を地域別に再集計し、カイ 2 乗検定を実施したところ、公共交通は便利だという意識に関しては地域ごとの傾向に統計的に有意な差は認められなかった。一方、公共交通を使うよう心掛けているかについては、回答の傾向に統計的に有意な差が認められた (カイ 2 乗値=43.2, $df=20$, $P<0.01$)。

地域別の傾向を視覚的にみるため、回答に重みを付けて平均値がゼロ (否定意見、肯定意見が同等) になるように調整して地域ごとに集計し、【図 31】を作成した。

図の特徴として、全ての地域で、「公共交通が便利」「利用を心がけている」という意識は平均値 (ゼロ) を大きく下回っており、否定的な意見が多いことが読み取れる。また、「公共交通が便利」だという意識を、「利用を心がけている」という意識が上回っているのは、竹野地域、城崎地域、日高地域であった。これらの地域では、「公共交通が不便だ」という意識が強いものの、「利用を心がけている」市民が多いと判断できる。

なお、但東地域については、両方の意識について他地域よりも低いことが分かった。

図31：公共交通の利用について 地域別傾向



市民が必要と感じている公共交通の種類は以下のとおりである。「バスが最も必要」と考える市民が多く、次いで「鉄道」を支持する声が多い。また、タクシーについては、最も必要とする市民は3.6%と少数であるが、2番目、3番目に必要とする意見は17.3%、26.1%と支持が多く、補助的な公共交通としてタクシーを必要とする市民が多いことが読み取れる【図32】。

図32：【問27】どのような公共交通が必要か？

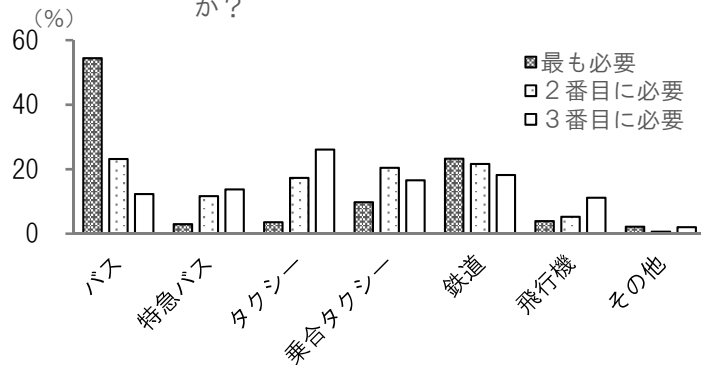
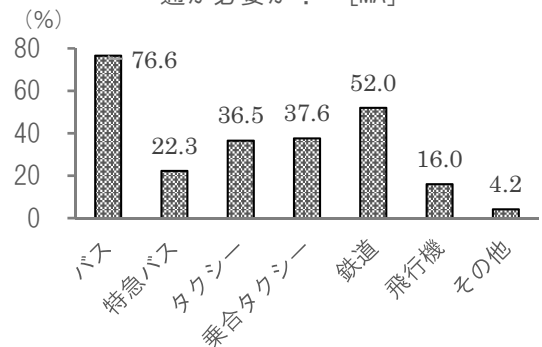
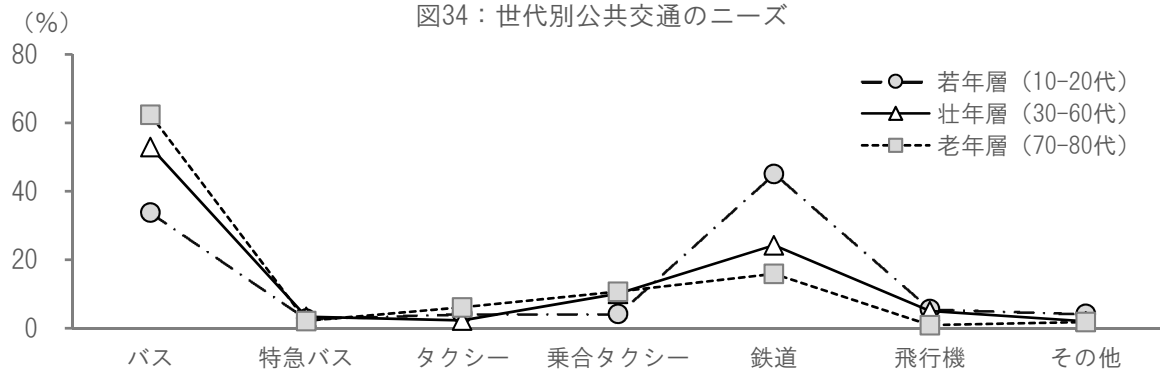


図33：【問27】どのような公共交通が必要か？ [MA]

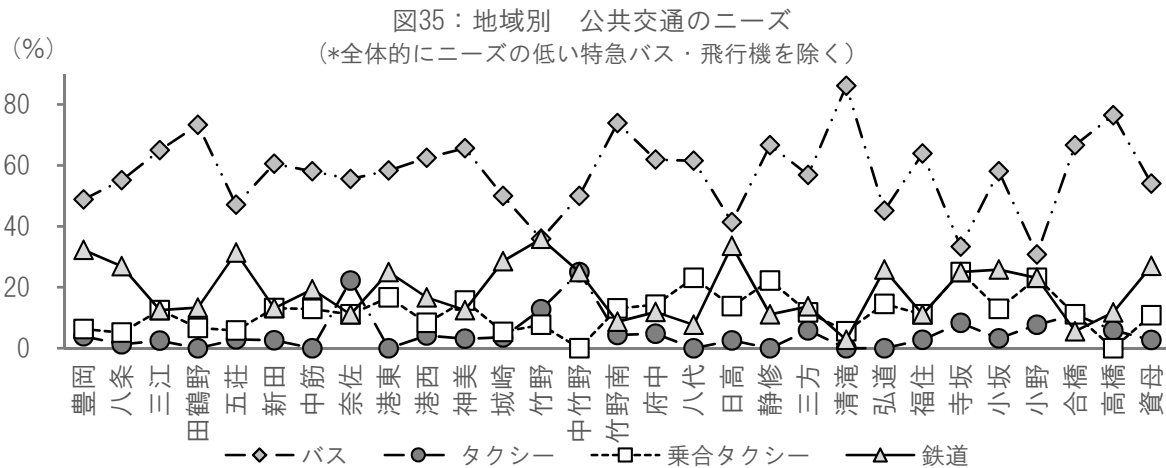


世代別に「最も必要」と感じる公共交通のニーズを分析すると、以下のような傾向の違いが見られた。全ての世代でバスへのニーズが高いが、特に壮年層、老年層のニーズは50%を超える高い値となっている。また、若い世代ほど鉄道を必要とする傾向が高い【図34】。

図34：世代別公共交通のニーズ

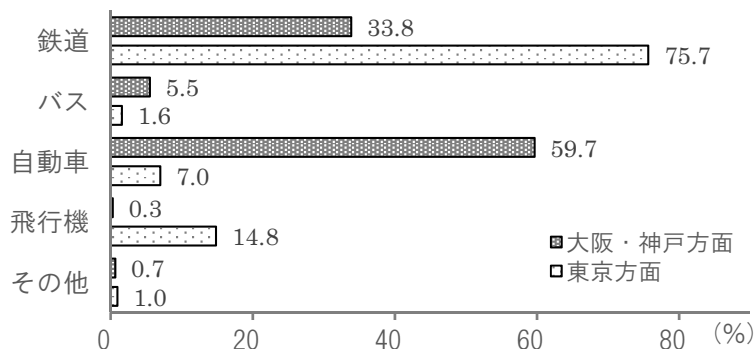


小学校区別に「最も必要」と感じる公共交通のニーズは次図のとおりである【図 35】。全ての学区でバスのニーズが最も高く、特に清滝・高橋・竹野南・田鶴野で多くの支持を集めている。一方、豊岡・五荘・竹野・日高では鉄道へのニーズが高く、八代・静修・寺坂・小野では乗合タクシーのニーズが高い。



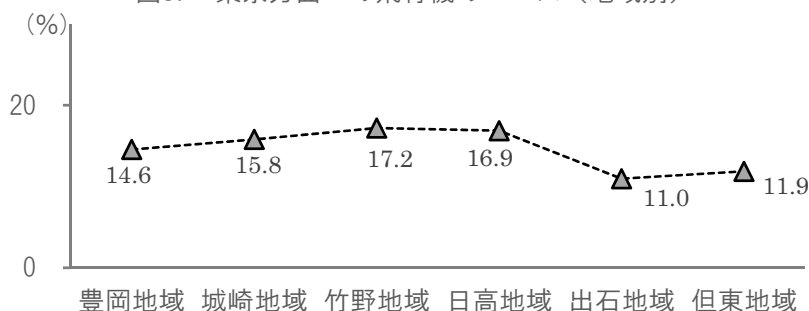
また、大阪・神戸方面と東京方面への主な交通手段については、「関西方面へは自家用車か鉄道」、「関東方面へは鉄道か飛行機（主に鉄道）」という使い分けが見られた【図 36】。

図36：【問28】ビジネス・レジャーの主な移動手段



次に、本市が力を入れている東京方面への飛行機利用について、地域別ニーズの傾向を下図に示した【図 37】。出石・但東地域は比較的ニーズが低くなっている。これは、空港へのアクセスが影響していると思われる。一方、市民のニーズが高かったのは、竹野(17.2%)・日高(16.9%)であり、空港までのアクセスが最も高い豊岡が14.6%にとどまっている。

図37：東京方面への飛行機のニーズ（地域別）



2.7 「子育てに優しいまち」

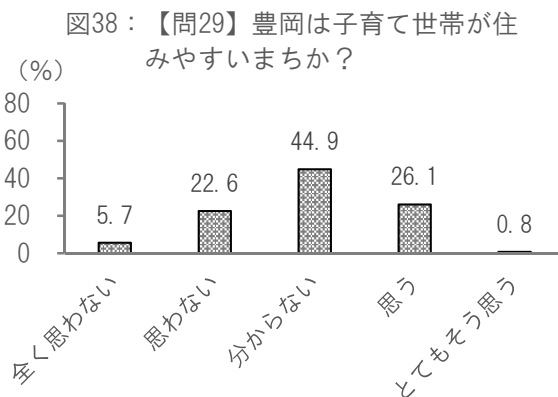
【要点】

- ・豊岡市は子育てに優しいまちだと感じている市民と、感じていない市民は共に 30%弱で拮抗している。
- ・子育て支援ボランティアへの関わりについて、子育て世帯の高齢者が積極的な意向を持っている。

【昨年度からの変化】

- ・【問 29～32】については昨年度と比較して統計的に優位な差は見られなかった。政策効果の発現には時間を要するため、今後の経過をモニタリングしていく必要がある。

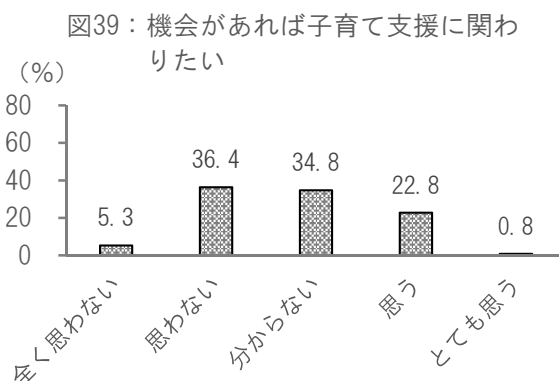
豊岡は子育て世帯が住みやすい（思う・とてもそう思う）と感じている市民は 26.9%で昨年とほぼ同じ結果であった【図 38】。

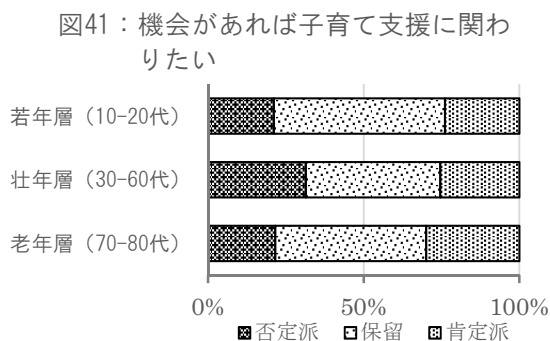
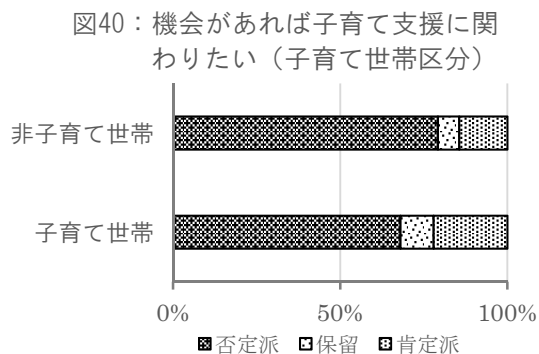


現在、仕事やボランティアで子育て支援に関わっていると回答した市民は 12.5%であり、昨年 14.8%から若干減少した【問 30】。また、現在子育て支援に関わっていないと回答した市民のうち、機会があれば関わってみたい（思う・とてもそう思う）と答えた市民は 23.4%であった【図 39】。

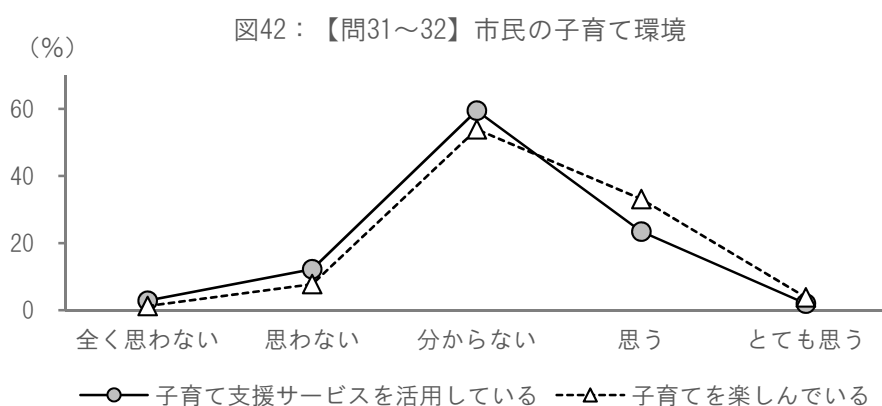
積極的に子育て支援に関わりたいとする市民の割合は、世帯内に小学生の子供がいる子育て世帯の方が非子育て世帯よりも高く、また、年代が上の市民程、肯定意見が多かった【図 40、図 41】。

これらから、現状の地域の子育て支援は、世帯内に子どもを持つ老年層の役割が高いことが分かる。





市の子育てサービスの活用状況【問31】と市民の育児満足度【問32】を見てみると、サービスを活用している市民は25.5%、育児を楽しんでいる市民は37.0%であった。



次に、「豊岡市は子育て世帯が住みやすいまちだ」と「子育てを楽しんでいる」という意識について、子育て世帯（※同居家族に小学生以下の子どもがいる世帯）と非子育て世帯に違いがあるかを比較したところ（t検定）、子育て世帯は、「豊岡市は子育て世帯が住みやすいまちだ」という意識については統計的に有意に低く（ $t=-3.1$ 、 $p<0.01$ ）、「子育てを楽しんでいる」という意識については統計的に有意に高い（ $t=3.62$ 、 $p<0.01$ ）ことが分かった。このことから、子育て世帯は、子育てに苦労を感じているものの、楽しみも同時に感じていることが読み取れる。

表 10：子育て世帯と「子育て世帯の住みやすさ」意識

		子育て世帯		合計
		非該当	該当	
⑪ 住みやすい	全く思わない	43	34	77
	思わない	238	67	305
	分からない	551	55	606
	思う	279	73	352
	とても思う	6	5	11
合計		1117	234	1351

表 11：子育て世帯と「子育てを楽しむ」意識

		子育て世帯		合計
		非該当	該当	
⑬ 子育ては楽しい	全く思わない	13	4	17
	思わない	87	16	103
	分からない	646	65	711
	思う	316	121	437
	とても思う	28	23	51
合計		1090	229	1319

2.8 「エコ農業のまち」

【要点】

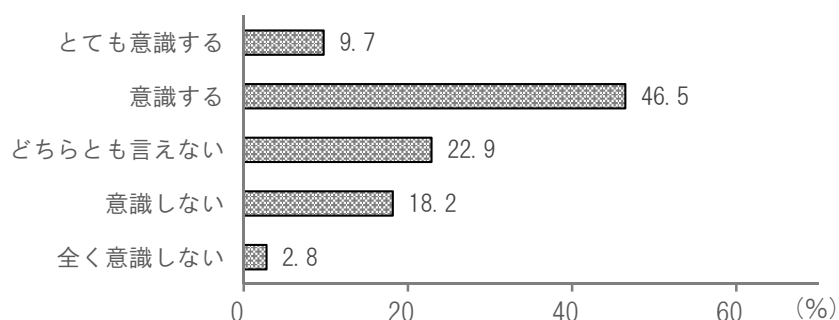
- ・半数以上の市民が無農薬・減農薬の食材に関心を持っている。
- ・「コウノトリの舞」の知名度は一定程度高い（79%）が、継続して購入している市民は非常に少ない（3.54%）。
- ・継続的な購入者の増加には、取扱店舗や取扱品目の増加が有効である。
- ・「食の安全に関する意識」と「コウノトリの舞の知名度」について、年代別及び性別に分析した結果、男性よりも女性の方が意識も知名度も高く、世代別では若年層が意識も知名度も低いことが分かった。

【昨年度からの変化】

- ・問 33、問 34 について、昨年度と比較して統計的に優位な差異は見られなかった。政策効果の発現には時間を要するため、今後の経過をモニタリングしていく必要がある。

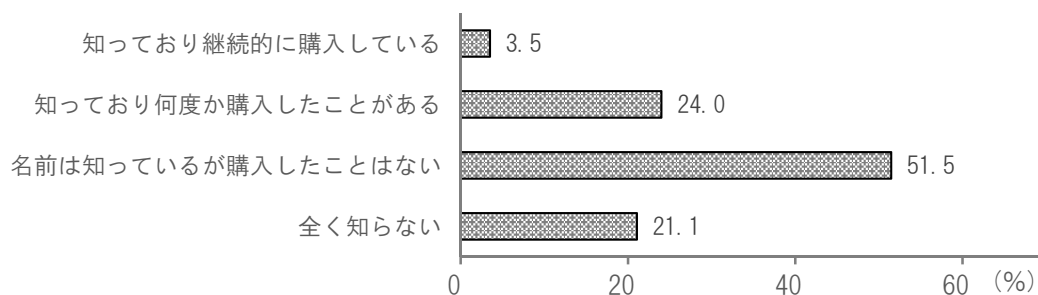
食品や食材の農薬使用に対する市民の意識は高く、約 56.2%の市民が無農薬・減農薬であるかどうかを意識すると回答している。これは、昨年度とほぼ同率（約 55.5%）であった【図 43】。

図43：【問33】食品・食材の無農薬・減農薬を意識するか？



「コウノトリの舞」の知名度は高く、「知っている」と答えた市民は 79%であり、昨年より 3.9 ポイント増加している。しかしながら、「何度か購入したことがある」、「継続的に購入している」市民はそれぞれ 24%、3.5%にとどまり、昨年とほぼ同様であった【図 44】。

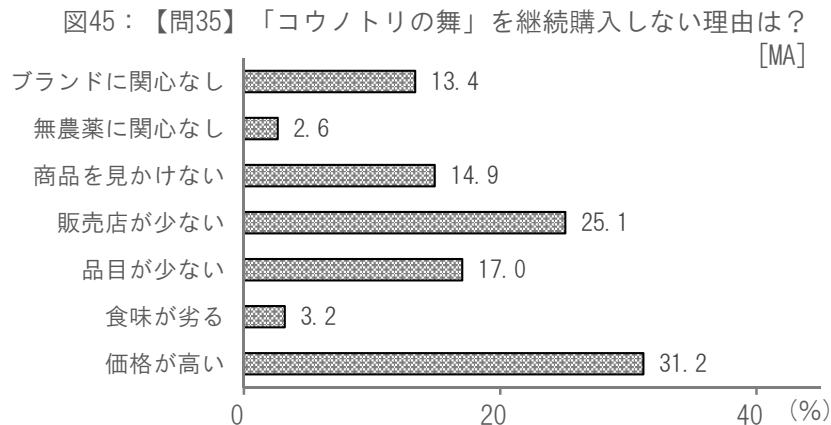
図44：【問34】「コウノトリの舞」を知っているか？



「農薬使用に対する意識」と「コウノトリの舞の知名度」に関して、男女のグループ別に回答を比較分析（t 検定）した結果、それぞれ、女性の方が統計的に有意に高いことが示された（ $t=8.3$ 、 $p<0.01$ ； $t=4.1$ 、 $p<0.01$ ）。

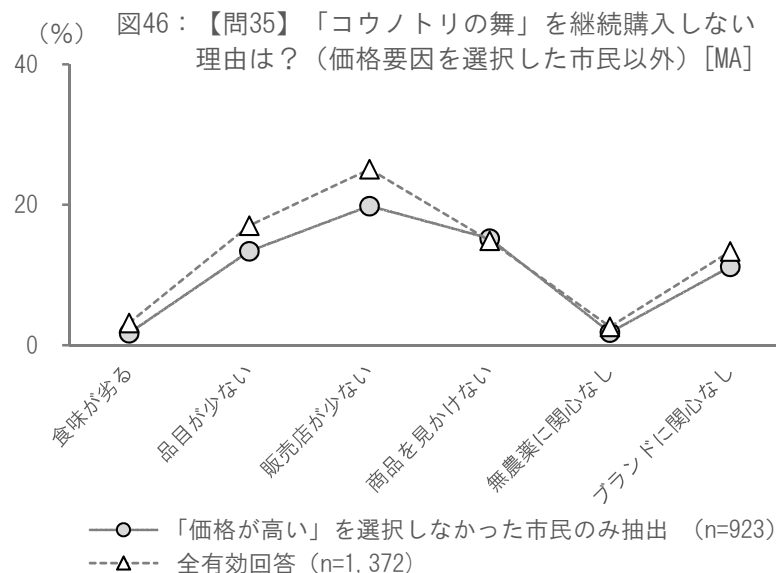
【問 34】に関連し、継続的な購入に至らない理由を尋ねたところ、次図の結果が得られた。選択された割合が最も高かったのは「価格が高い」31.2%であり、以降は「取扱店が少ない」、「品目が少ない」、「商品を見かけない」の順となっている。

「無農薬に関心なし」の回答が2.6%と僅少であることと、【問 33】の回答で「無農薬・減農薬」を意識する・とても意識する」が約56.2%であったことを併せて考えると、何れかの阻害要因を緩和させることで継続購入の改善につなげることができると考えられる。

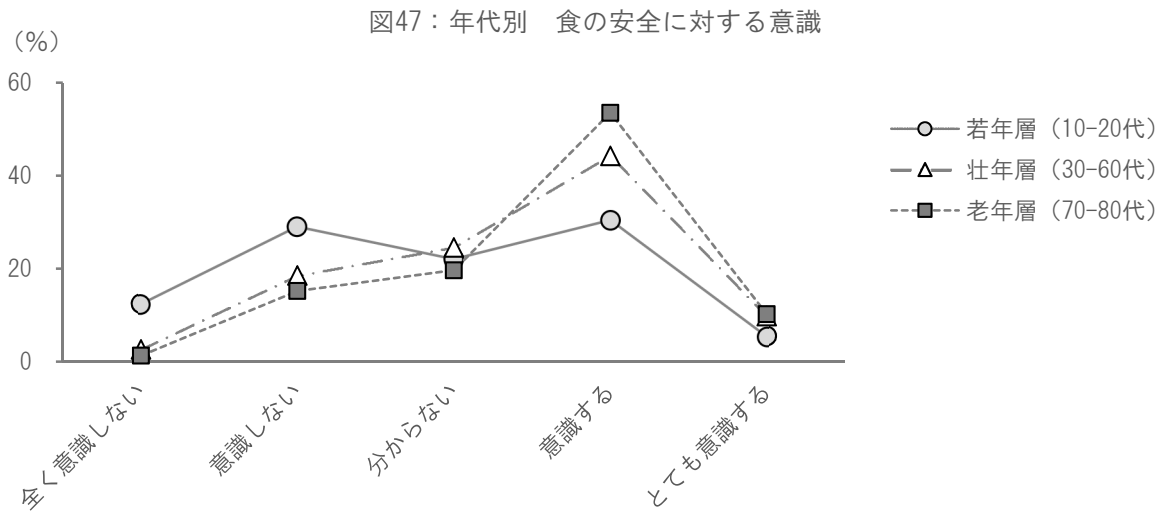


継続購入しない理由をさらに分析するため、【問 35】の回答で最も割合が高かった「価格が高い」を選択した市民を除いて再集計を実施したところ次図の結果を得た。全体の傾向と、価格を事由に選択しなかったグループでは同様の傾向が見られ、「取扱店が少ない」、「品目が少ない」、「商品を見かけない」が高い割合となっている【図 46】。

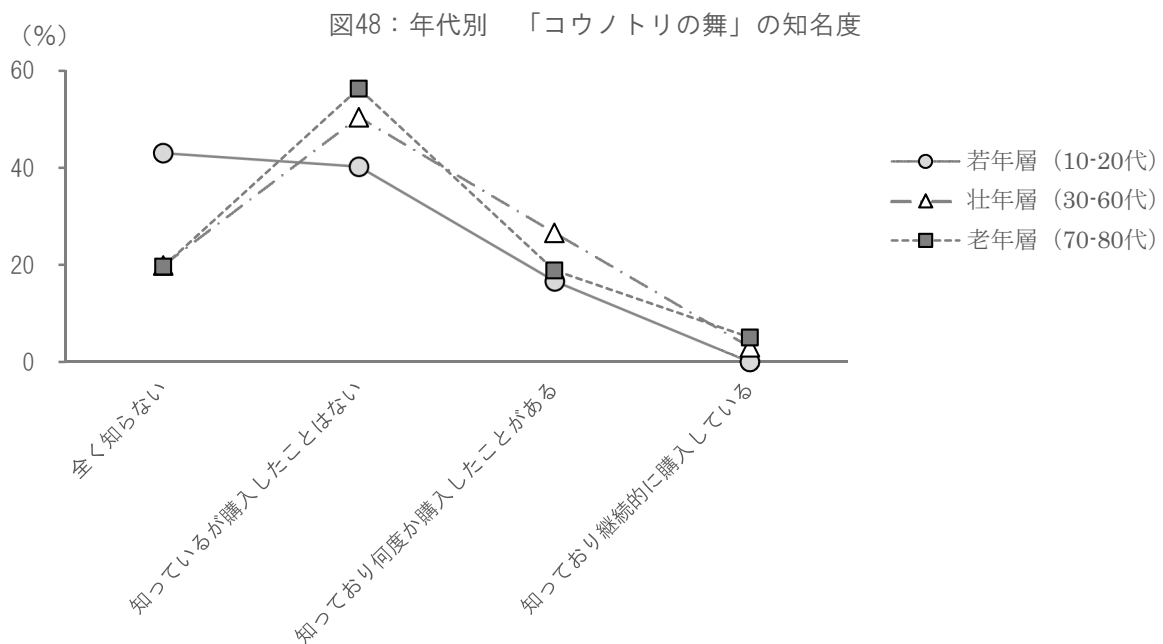
このことから、通常の農産物に比して手間がかかる「コウノトリの舞」商品の低価格化が直ちには困難であったとしても、販売店や取扱品目の拡大等の取組みが、継続的な購入者の増加につながる事が期待できる。



「食の安全性への意識」(【問 33】無農薬・減農薬かを意識する)を年代別に見ると、若年層と非若年層で異なる傾向が見られた。次図を見ると、老年層・壮年層と比較して、若年層の意識が低いことがわかる【図 47】。なお、この傾向は前年と同様である。



「コウノトリの舞」の知名度に関しても、若年層の知名度が最も低くなっている。特に「全く知らない」と回答した割合が43%と高く、老年層・壮年層と比較して2倍の値であった。今後のマーケティング戦略においては、若年層への働きかけが重要と言える【図 48】。



2.9 「住みたいと思うまち」

【要点】

- ・約半数の市民が豊岡市での暮らしに価値や魅力を感じている。
- ・救急医療や周産期センターなどの医療環境に関する市民の満足度は高い。
- ・親の視点から見た子のリターンに関する障害は就職先であり、この不安を解消することでリターンの増加につながる可能性がある。
- ・市外出身の若者が増えることに関しての市民の抵抗感は低く、地域活性化のために若者の増加に期待を持っている。

豊岡で暮らすことに価値や魅力を感じていると回答した市民は、46.4%であった。反対に「感じない」との回答は22.0%であった【図49】。地域ごとの傾向を測るため、地域ごとに最集計したところ、「思う・とても思う」肯定派の割合が最も高いのは城崎（54%）であり唯一5割を超えていた。逆に「思わない・全く思わない」否定派の割合が高いのは、但東（28%）・日高（27%）であった【図50】。

図49：【問36】豊岡市で暮らすことに価値や魅力を感じるか？

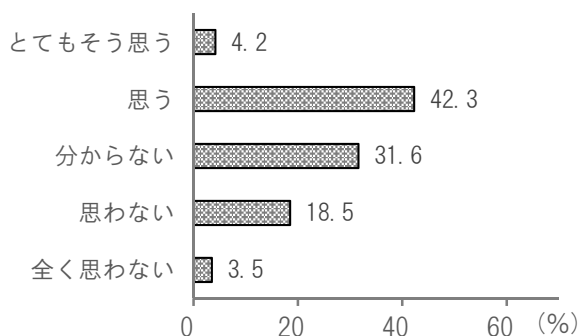
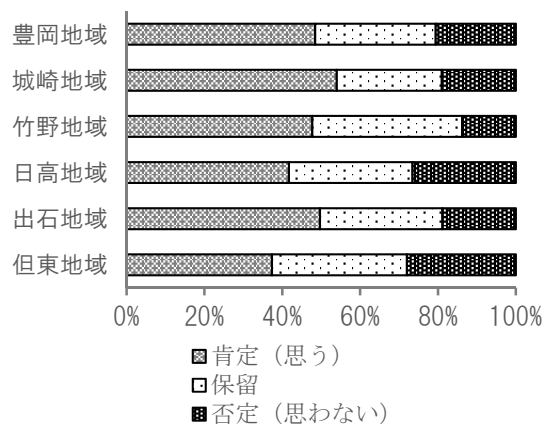
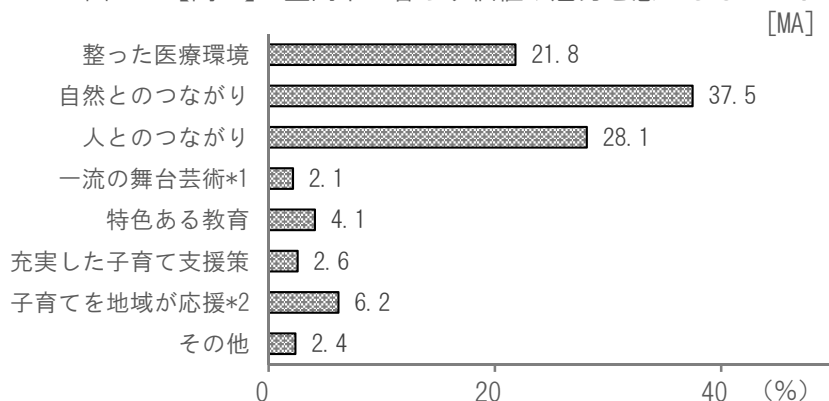


図50：【問36】豊岡市で暮らすことに価値や魅力を感じるか？〈地域別〉



【問36】で、豊岡で暮らすことに価値や魅力を感じていると回答した市民に、その魅力を尋ねたところ、「自然」が最も多く37.5%であった。続いて、「人とのつながり」、「整った医療環境」が多く、これら以外の項目を選択した市民は僅少であった【図51】。

図51：【問37】豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものは？



*1 一流の舞台芸術に触れる機会

*2 子育てを周りの人や地域が応援してくれる環境

「子どもたちに対し、将来帰ってきて欲しいか？」という設問に関し、59.9%が「帰ってきて欲しい」と回答した。逆に「思わない・全く思わない」は約 17.9%であった。「思わない・全く思わない」と回答した市民のうち、その事由について、半数以上が「仕事」を挙げており、豊岡に子どもたちが帰ってくることに関して、「仕事」が大きな不安となっていることが分かった。

図52：【問38】子どもたちに将来帰ってきて欲しいか？

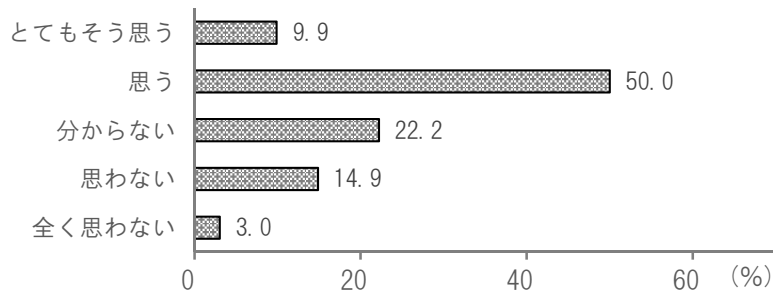


表 12：【問 38-附問】問 38 の回答を選んだ理由

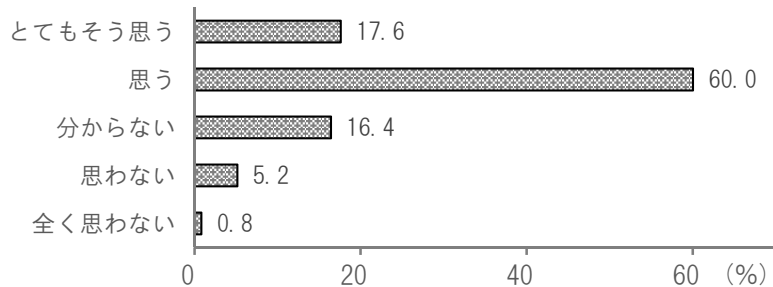
No	帰ってきて欲しいと「思わない」理由 (問 38 = 1 or 2)	件 数	No	帰ってきて欲しいと「思う」理由 (問 38 = 4 or 5)	件 数
1	仕事に不安（就職先・収入）	75 件	1	少子高齢化・人口減対策のため	105 件
2	生活が不便（公共交通・医療等）	26 件	2	地域の活性化のため	100 件
3	本人の意思を尊重する	19 件	3	子供・孫に近くに住んでほしい	32 件
4	豊岡に魅力がない	11 件	4	家督を継いでほしい	14 件
5	教育・子育てに不安	8 件	5	故郷を大切にしてほしい	13 件

注）自由筆記の回答から類似のキーワードをカウントした。

「市外出身者の若者増加」に関する市民の意識に関しては、77.6%から好意的な回答を得た。逆に否定的な回答は6%と僅少であった。

【問 38】と【問 39】の間には、正に有意な相関があり（ $r=0.27$ 、 $p<0.01$ ）、一方が増加すればもう一方も増加する傾向がある。この結果と【問 38】の附問で「若者がいないと地域に活気が出ないから」といった趣旨の回答が多くみられたことと合わせると、市民の少子高齢化に対する危機感は強く、市出身者・市外出身者を問わず、若者の増加に期待していることが伺える。

図53：【問39】人口減少対策として、市街出身の若者がふえることは良いと思うか？



3 参考データ

【問１】あなたの性別は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	男性	646	44.7	46.1	46.1
	女性	755	52.3	53.9	100.0
	合計	1401	97.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	43	3.0		
合計		1444	100.0		

【問２】あなたの年齢は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	10代	17	1.2	1.2	1.2
	20代	56	3.9	4.0	5.2
	30代	130	9.0	9.2	14.4
	40代	180	12.5	12.8	27.2
	50代	247	17.1	17.6	44.8
	60代	362	25.1	25.7	70.6
	70代	249	17.2	17.7	88.3
	80代以上	165	11.4	11.7	100.0
	合計	1406	97.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	38	2.6		
合計		1444	100.0		

【問３】あなたの職業は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	会社員	287	19.9	20.6	20.6
	自営業	189	13.1	13.6	34.2
	公務員	72	5.0	5.2	39.4
	パート・アルバイト	183	12.7	13.1	52.5
	主婦	330	22.9	23.7	76.2
	学生	21	1.5	1.5	77.7
	NGO・NPO	4	0.3	0.3	78.0
	その他	306	21.2	22.0	100.0
	合計	1392	96.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	52	3.6		
合計		1444	100.0		

【問４】あなたがお住いの小学校区は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	豊岡	155	10.7	11.1	11.1
	八条	88	6.1	6.3	17.4
	三江	50	3.5	3.6	21.0
	田鶴野	54	3.7	3.9	24.9
	五荘	190	13.2	13.6	38.5
	新田	43	3.0	3.1	41.6
	中筋	37	2.6	2.7	44.3
	奈佐	13	0.9	0.9	45.2
	港東	14	1.0	1.0	46.2
	港西	29	2.0	2.1	48.3
	神美	38	2.6	2.7	51.0
	城崎	68	4.7	4.9	55.9
	竹野	41	2.8	2.9	58.9
	中竹野	5	0.3	0.4	59.2
	竹野南	26	1.8	1.9	61.1
	府中	50	3.5	3.6	64.7
	八代	14	1.0	1.0	65.7
	日高	124	8.6	8.9	74.6
	静修	14	1.0	1.0	75.6
	三方	54	3.7	3.9	79.5
	清滝	37	2.6	2.7	82.1
	弘道	72	5.0	5.2	87.3
	福住	39	2.7	2.8	90.1
	寺坂	12	0.8	0.9	91.0
	小坂	34	2.4	2.4	93.4
	小野	13	0.9	0.9	94.3
	合橋	19	1.3	1.4	95.7
	高橋	18	1.2	1.3	97.0
	資母	42	2.9	3.0	100.0
	合計	1393	96.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	51	3.5		
合計		1444	100.0		

【問５】あなたの同居家族の構成は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ひとり暮らし	135	9.3	9.7	9.7
	夫婦のみ	331	22.9	23.7	33.4
	夫婦と子ども	345	23.9	24.7	58.1
	父または母親と子ども	99	6.9	7.1	65.1
	二世世代家族	200	13.9	14.3	79.5
	三世世代家族	219	15.2	15.7	95.1
	その他	68	4.7	4.9	100.0
	合計	1397	96.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	47	3.3		
合計		1444	100.0		

【問５】小学生以下の子どもの数は？（人）

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	129	8.9	53.8	53.8
	2	82	5.7	34.2	87.9
	3	24	1.7	10.0	97.9
	4	3	0.2	1.3	99.2
	6	1	0.1	0.4	99.6
	7	1	0.1	0.4	100.0
	合計	240	16.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	1204	83.4		
合計		1444	100.0		

【問６】あなたの区では、災害時、被害を軽減するために「住民同士の助け合い行動ができる」と思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	37	2.6	2.6	2.6
	思わない	129	8.9	9.2	11.8
	分からない	434	30.1	30.9	42.7
	思う	764	52.9	54.4	97.1
	とてもそう思う	41	2.8	2.9	100.0
	合計	1405	97.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	39	2.7		
合計		1444	100.0		

【問 7】あなたは区で開催される防災訓練（消火器取扱い訓練、避難訓練、救命講習など）に参加したことがありますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ほぼ毎回	226	15. 7	16. 1	16. 1
	ときどき	271	18. 8	19. 3	35. 4
	少なくとも一度	368	25. 5	26. 2	61. 7
	一度もない	451	31. 2	32. 2	93. 9
	訓練を行っていない	86	6. 0	6. 1	100. 0
	合計	1402	97. 1	100. 0	
欠損値	システム欠損値	42	2. 9		
合計		1444	100. 0		

【問 8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

A 消火器を設置している（最寄りの設置場所を知っている）

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	1043	72. 2	100. 0	100. 0
欠損値	システム欠損値	401	27. 8		
合計		1444	100. 0		

【問 8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

B 住宅用火災警報器を設置している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	1177	81. 5	100. 0	100. 0
欠損値	システム欠損値	267	18. 5		
合計		1444	100. 0		

【問 8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

C 非常持出し袋を準備している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	349	24. 2	100. 0	100. 0
欠損値	システム欠損値	1095	75. 8		
合計		1444	100. 0		

【問 8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

D 家具の転倒防止を施している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	223	15.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1221	84.6		
合計		1444	100.0		

【問 8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

E 住宅の耐震診断や耐震改修を行っている

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	158	10.9	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1286	89.1		
合計		1444	100.0		

【問 8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

F 最寄りの避難場所を確認している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	921	63.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	523	36.2		
合計		1444	100.0		

【問 8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

G 避難ルートを確認している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	472	32.7	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	972	67.3		
合計		1444	100.0		

【問 8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

H 有事の際、助けが必要な（または自分を助けてくれる）近所の人を認識している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	448	31.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	996	69.0		
合計		1444	100.0		

【問 8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

Ⅰ 有事の際の避難行動について、家族と話し合っている（避難場所や連絡の方法など）

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	348	24.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1096	75.9		
合計		1444	100.0		

【問 8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

Ⅱ その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	20	1.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1424	98.6		
合計		1444	100.0		

【問 9】あなたは現在、自分が健康だと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	64	4.4	4.6	4.6
	思わない	478	33.1	34.0	38.6
	思う	817	56.6	58.2	96.8
	とてもそう思う	45	3.1	3.2	100.0
	合計	1404	97.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	40	2.8		
合計		1444	100.0		

【問 10】あなたご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

A 食生活に気をつける

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	999	69.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	445	30.8		
合計		1444	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

B 虫歯や歯周病にならないよう歯の健康に気をつける

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	606	42.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	838	58.0		
合計		1444	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

C 睡眠や休養を十分にとる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	877	60.7	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	567	39.3		
合計		1444	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

D 適正体重を認識し体重をコントロールしている

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	506	35.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	938	65.0		
合計		1444	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

E 定期的に健康管理や健康診断を受診する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	813	56.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	631	43.7		
合計		1444	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

F 運動やスポーツなど積極的に体を動かす

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	447	31.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	997	69.0		
合計		1444	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

G 健康についての知識や情報を得る

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	502	34.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	942	65.2		
合計		1444	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

H 趣味や旅行など生きがい（楽しみ）を持つ

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	595	41.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	849	58.8		
合計		1444	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

I ボランティア活動や地域の活動に参加する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	240	16.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1204	83.4		
合計		1444	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

J 何もしていな

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	52	3.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1392	96.4		
合計		1444	100.0		

【問 10】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

K その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	30	2.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1414	97.9		
合計		1444	100.0		

【問 1 1】あなたは健康維持・増進のために運動（1日30分以上）をしていますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ほぼ毎日	226	15.7	16.4	16.4
	週3日以上	172	11.9	12.5	28.9
	週2日	161	11.1	11.7	40.5
	週1日以下	189	13.1	13.7	54.2
	していない	631	43.7	45.8	100.0
	合計	1379	95.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	65	4.5		
合計		1444	100.0		

【問 1 2】【問 1 1】の回答で ① ～ ④ を選択した方にお尋ねします。
その運動はどのくらい継続されていますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1年以上	537	37.2	75.5	75.5
	半年～1年未満	63	4.4	8.9	84.4
	3か月～半年	48	3.3	6.8	91.1
	3か月未満	63	4.4	8.9	100.0
	合計	711	49.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	733	50.8		
合計		1444	100.0		

【問 1 3】あなたは一緒に健康づくりをする仲間がいますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	たくさんいる	78	5.4	5.8	5.8
	まあまあいる	323	22.4	24.0	29.8
	どちらとも言えない	196	13.6	14.6	44.4
	あまりいない	373	25.8	27.7	72.1
	全くいない	375	26.0	27.9	100.0
	合計	1345	93.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	99	6.9		
合計		1444	100.0		

【問１４】運動ができる公園や健康増進施設など、身近なところで健康づくりのできる環境が整っていると思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	119	8.2	8.6	8.6
	思わない	461	31.9	33.2	41.8
	分からない	313	21.7	22.6	64.3
	思う	472	32.7	34.0	98.3
	とてもそう思う	23	1.6	1.7	100.0
	合計	1388	96.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	56	3.9		
合計		1444	100.0		

【問１５】豊岡市は、環境に優しいまちだと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	36	2.5	2.6	2.6
	思わない	213	14.8	15.1	17.7
	分からない	601	41.6	42.7	60.3
	思う	539	37.3	38.3	98.6
	とてもそう思う	20	1.4	1.4	100.0
	合計	1409	97.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	35	2.4		
合計		1444	100.0		

【問１６】豊岡市は、近年、経済的に豊かになってきていると思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	192	13.3	13.6	13.6
	思わない	646	44.7	45.8	59.4
	分からない	474	32.8	33.6	93.0
	思う	94	6.5	6.7	99.7
	とてもそう思う	4	0.3	0.3	100.0
	合計	1410	97.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	34	2.4		
合計		1444	100.0		

【問１７】日常生活で省エネを意識していますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くしていない	15	1.0	1.1	1.1
	していない	188	13.0	13.3	14.4
	分からない	127	8.8	9.0	23.4
	している	1009	69.9	71.4	94.8
	とてもしている	74	5.1	5.2	100.0
	合計	1413	97.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	31	2.1		
合計		1444	100.0		

【問１８】日常生活で環境に配慮した商品を意識して購入していますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くしていない	33	2.3	2.3	2.3
	していない	377	26.1	26.8	29.2
	分からない	330	22.9	23.5	52.7
	している	642	44.5	45.7	98.4
	とてもしている	23	1.6	1.6	100.0
	合計	1405	97.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	39	2.7		
合計		1444	100.0		

【問１９】豊岡市の市民や事業者の皆さまによる環境を良くする取組みが、豊岡市の経済にもプラスになると感じますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	20	1.4	1.4	1.4
	思わない	126	8.7	8.9	10.3
	分からない	532	36.8	37.7	48.1
	思う	684	47.4	48.5	96.5
	とても思う	49	3.4	3.5	100.0
	合計	1411	97.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	33	2.3		
合計		1444	100.0		

【問２０】豊岡市は、国内外から人が集まる、賑わい活気にあふれたまちだと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	88	6.1	6.4	6.4
	思わない	629	43.6	45.5	51.9
	分からない	367	25.4	26.6	78.4
	思う	283	19.6	20.5	98.9
	とてもそう思う	15	1.0	1.1	100.0
	合計	1382	95.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	62	4.3		
合計		1444	100.0		

【問２１】あなたの地域（合併前の旧市町）にもっと観光客が来てほしいと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	17	1.2	1.2	1.2
	思わない	227	15.7	16.4	17.7
	分からない	234	16.2	17.0	34.6
	思う	797	55.2	57.8	92.4
	とても思う	105	7.3	7.6	100.0
	合計	1380	95.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	64	4.4		
合計		1444	100.0		

【問２２】市外の人に、豊岡市を、訪れる価値のあるまちとして勧めたいと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	22	1.5	1.6	1.6
	思わない	216	15.0	15.7	17.3
	分からない	363	25.1	26.4	43.8
	思う	710	49.2	51.7	95.5
	とても思う	62	4.3	4.5	100.0
	合計	1373	95.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	71	4.9		
合計		1444	100.0		

【問２３】現在、仕事あるいはボランティアとして、豊岡市を訪れる観光客への「おもてなし」活動に関わっていますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	70	4.8	5.1	5.1
	いいえ	1304	90.3	94.9	100.0
	合計	1374	95.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	70	4.8		
合計		1444	100.0		

【問２３-２】【問２３で「いいえ」を選択した方のみ】機会があれば、観光ボランティア・ガイドなどとして、豊岡市の「おもてなし」に関わりたいと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	92	6.4	7.8	7.8
	思わない	582	40.3	49.3	57.1
	分らない	336	23.3	28.5	85.6
	思う	166	11.5	14.1	99.7
	とても思う	4	0.3	0.3	100.0
	合計	1180	81.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	264	18.3		
合計		1444	100.0		

【問２４】豊岡市の魅力的な観光資源は何ですか？ 最も魅力的

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	城崎温泉	485	33.6	55.1	55.1
	出石城下町	44	3.0	5.0	60.0
	コウノトリ	120	8.3	13.6	73.7
	神鍋高原	14	1.0	1.6	75.3
	竹野海岸	13	0.9	1.5	76.7
	但東のチューリップ	5	0.3	0.6	77.3
	自然・景観	59	4.1	6.7	84.0
	松葉ガニ	42	2.9	4.8	88.8
	但馬牛	38	2.6	4.3	93.1
	山陰海岸ジオパーク	57	3.9	6.5	99.5
	その他	4	0.3	0.5	100.0
	合計	881	61.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	563	39.0		
合計		1444	100.0		

【問 2 4】豊岡市の魅力的な観光資源は何ですか？ 2 番目に魅力的

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	城崎温泉	158	10.9	18.2	18.2
	出石城下町	204	14.1	23.4	41.6
	コウノトリ	124	8.6	14.3	55.9
	神鍋高原	44	3.0	5.1	60.9
	竹野海岸	32	2.2	3.7	64.6
	但東のチューリップ	8	0.6	0.9	65.5
	自然・景観	47	3.3	5.4	70.9
	松葉ガニ	124	8.6	14.3	85.2
	但馬牛	57	3.9	6.6	91.7
	山陰海岸ジオパーク	66	4.6	7.6	99.3
	その他	6	0.4	0.7	100.0
	合計	870	60.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	574	39.8		
合計		1444	100.0		

【問 2 4】豊岡市の魅力的な観光資源は何ですか？ 3 番目に魅力的

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	城崎温泉	79	5.5	9.2	9.2
	出石城下町	95	6.6	11.1	20.3
	コウノトリ	128	8.9	14.9	35.2
	神鍋高原	69	4.8	8.1	43.3
	竹野海岸	50	3.5	5.8	49.1
	但東のチューリップ	16	1.1	1.9	51.0
	自然・景観	73	5.1	8.5	59.5
	松葉ガニ	128	8.9	14.9	74.4
	但馬牛	108	7.5	12.6	87.0
	山陰海岸ジオパーク	105	7.3	12.3	99.3
	その他	6	0.4	0.7	100.0
	合計	857	59.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	587	40.7		
合計		1444	100.0		

【問２５】豊岡市の公共交通は便利だと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	284	19.7	20.6	20.6
	思わない	755	52.3	54.7	75.3
	分からない	216	15.0	15.7	91.0
	思う	121	8.4	8.8	99.8
	とても思う	3	0.2	0.2	100.0
	合計	1379	95.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	65	4.5		
合計		1444	100.0		

【問２６】日常生活で、公共交通を使うよう心がけていますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くしていない	403	27.9	29.2	29.2
	していない	675	46.7	49.0	78.2
	分からない	170	11.8	12.3	90.6
	している	117	8.1	8.5	99.1
	とてもしている	13	0.9	0.9	100.0
	合計	1378	95.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	66	4.6		
合計		1444	100.0		

【問２７】あなたの地域にはどのような公共交通が必要だと思いますか？
最も必要

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	バス	685	47.4	54.4	54.4
	特急バス	37	2.6	2.9	57.3
	タクシー	45	3.1	3.6	60.9
	乗合タクシー	123	8.5	9.8	70.7
	鉄道	293	20.3	23.3	94.0
	飛行機	49	3.4	3.9	97.9
	その他	27	1.9	2.1	100.0
	合計	1259	87.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	185	12.8		
合計		1444	100.0		

【問２７】あなたの地域にはどのような公共交通が必要だと思いますか？
２番目に必要

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	バス	269	18.6	23.2	23.2
	特急バス	135	9.3	11.6	34.8
	タクシー	201	13.9	17.3	52.1
	乗合タクシー	237	16.4	20.4	72.5
	鉄道	251	17.4	21.6	94.1
	飛行機	61	4.2	5.3	99.4
	その他	7	0.5	0.6	100.0
	合計	1161	80.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	283	19.6		
合計		1444	100.0		

【問２７】あなたの地域にはどのような公共交通が必要だと思いますか？
３番目に必要

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	バス	129	8.9	12.3	12.3
	特急バス	144	10.0	13.7	26.0
	タクシー	274	19.0	26.1	52.1
	乗合タクシー	174	12.0	16.6	68.7
	鉄道	191	13.2	18.2	86.9
	飛行機	117	8.1	11.1	98.0
	その他	21	1.5	2.0	100.0
	合計	1050	72.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	394	27.3		
合計		1444	100.0		

【問２８】ビジネス・レジャー等の際の主な移動手段についてお聞きします。
(１) 大阪・神戸方面へ出かけるとき、主にどの移動手段を利用しますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	鉄道	459	31.8	33.8	33.8
	バス	75	5.2	5.5	39.4
	自動車	809	56.0	59.7	99.0
	飛行機	4	0.3	0.3	99.3
	その他	9	0.6	0.7	100.0
	合計	1356	93.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	88	6.1		
合計		1444	100.0		

【問２８】ビジネス・レジャー等の際の主な移動手段についてお聞きます。

（２）東京方面へ出かけるとき、主にどの移動手段を利用しますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	鉄道	954	66.1	75.7	75.7
	バス	20	1.4	1.6	77.2
	自動車	88	6.1	7.0	84.2
	飛行機	187	13.0	14.8	99.0
	その他	12	0.8	1.0	100.0
	合計	1261	87.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	183	12.7		
合計		1444	100.0		

【問２９】豊岡市は子育て世帯が住みやすいまちだと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	77	5.3	5.7	5.7
	思わない	305	21.1	22.6	28.3
	分からない	606	42.0	44.9	73.1
	思う	352	24.4	26.1	99.2
	とてもそう思う	11	0.8	0.8	100.0
	合計	1351	93.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	93	6.4		
合計		1444	100.0		

【問３０】現在、仕事またはボランティアとして、子育てを支援したり、地域の子ども会イベントなどの活動に関わったりしていますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	168	11.6	12.5	12.5
	いいえ	1178	81.6	87.5	100.0
	合計	1346	93.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	98	6.8		
合計		1444	100.0		

【問３０-２】【問３０で「いいえ」を選択した方のみ】機会があれば、これらの活動に関わってみようと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	55	3.8	5.1	5.1
	思わない	392	27.1	36.6	41.7
	分からない	374	25.9	34.9	76.6
	思う	242	16.8	22.6	99.2
	とても思う	9	0.6	0.8	100.0
	合計	1072	74.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	372	25.8		
合計		1444	100.0		

【問３１】あなた自身、あるいはあなたの周囲で子育てをしている方は、市の子育て支援サービスを活用していますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く活用しない	26	1.8	2.9	2.9
	活用していない	111	7.7	12.2	15.1
	分からない	540	37.4	59.5	74.6
	活用している	213	14.8	23.5	98.0
	頻繁に活用している	18	1.2	2.0	100.0
	合計	908	62.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	536	37.1		
合計		1444	100.0		

【問３２】あなた自身、あるいはあなたの周囲で子育てをしている方は、子育てを楽しんでいますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	17	1.2	1.3	1.3
	思わない	103	7.1	7.8	9.1
	分からない	711	49.2	53.9	63.0
	思う	437	30.3	33.1	96.1
	とても思う	51	3.5	3.9	100.0
	合計	1319	91.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	125	8.7		
合計		1444	100.0		

【問３３】食品を購入する時など、その食品や材料が無農薬・減農薬かどうかを意識しますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く意識しない	38	2.6	2.8	2.8
	意識しない	250	17.3	18.2	20.9
	どちらとも言えない	315	21.8	22.9	43.8
	意識する	640	44.3	46.5	90.3
	とても意識する	134	9.3	9.7	100.0
	合計	1377	95.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	67	4.6		
合計		1444	100.0		

【問３４】あなたは、「コウノトリの舞」という農産物ブランドをご存じですか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く知らない	289	20.0	21.1	21.1
	名前は知っているが購入したことはない	706	48.9	51.5	72.5
	知っており何度か購入したことがある	329	22.8	24.0	96.5
	知っており継続的に購入している	48	3.3	3.5	100.0
	合計	1372	95.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	72	5.0		
合計		1444	100.0		

【問３５】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

A 価格が高いから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	450	31.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	994	68.8		
合計		1444	100.0		

【問 3 5】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

B 食味が劣ると思うから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	46	3.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1398	96.8		
合計		1444	100.0		

【問 3 5】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

C 欲しい農産物が無い（認定品目が少ない）から

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	246	17.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1198	83.0		
合計		1444	100.0		

【問 3 5】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

D 販売している店が限られているから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	362	25.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1082	74.9		
合計		1444	100.0		

【問 3 5】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

E 販売されている農産物をほとんど見かけないから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	215	14.9	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1229	85.1		
合計		1444	100.0		

【問 3 5】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

F 無農薬・減農薬に魅力を感じないから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	38	2.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1406	97.4		
合計		1444	100.0		

【問 3 5】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

G 買い物のとき、ブランド（生産地や生産方法など）は意識しないから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	193	13.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1251	86.6		
合計		1444	100.0		

【問 3 5】（知っているが継続購入しない場合）その理由は？

H その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	111	7.7	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1333	92.3		
合計		1444	100.0		

【問 3 6】あなたは、豊岡市で暮らすことに価値や魅力があると感じて住んでいますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	47	3.3	3.5	3.5
	思わない	248	17.2	18.5	22.0
	分らない	424	29.4	31.6	53.6
	思う	567	39.3	42.3	95.8
	とてもそう思う	56	3.9	4.2	100.0
	合計	1342	92.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	102	7.1		
合計		1444	100.0		

【問 3 7】豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？

A 整った医療環境

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	315	21.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1129	78.2		
合計		1444	100.0		

【問３７】豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？

B 自然とのつながり

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	541	37.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	903	62.5		
合計		1444	100.0		

【問３７】豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？

C 人とのつながり

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	406	28.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1038	71.9		
合計		1444	100.0		

【問３７】豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？

D 一流の舞台芸術に触れる機会

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	31	2.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1413	97.9		
合計		1444	100.0		

【問３７】豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？

E 特色ある教育

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	59	4.1	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1385	95.9		
合計		1444	100.0		

【問３７】豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？

F 充実した子育て支援策

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	37	2.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1407	97.4		
合計		1444	100.0		

【問３７】豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？

G 子育てを周りの人や地域が応援してくれる環境

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	89	6.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1355	93.8		
合計		1444	100.0		

【問３７】豊岡市で暮らす価値や魅力を感じるものがあるとしたら、それは何ですか？

H その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	34	2.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1410	97.6		
合計		1444	100.0		

【問３８】進学や就職で豊岡市を出ていく子どもたちに対し、将来帰ってきて欲しいと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	36	2.5	3.0	3.0
	思わない	176	12.2	14.9	17.9
	分からない	263	18.2	22.2	40.1
	思う	592	41.0	50.0	90.1
	とてもそう思う	117	8.1	9.9	100.0
	合計	1184	82.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	260	18.0		
合計		1444	100.0		

【問３９】豊岡市では若者が減り続けていることから、人口減少対策として若者（概ね20～30歳代）の転入に力を入れています。市外出身の若者が増えることは良いことだと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	11	0.8	0.8	0.8
	思わない	70	4.8	5.2	6.0
	分からない	223	15.4	16.4	22.4
	思う	815	56.4	60.0	82.4
	とてもそう思う	239	16.6	17.6	100.0
	合計	1358	94.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	86	6.0		
合計		1444	100.0		

【問４０】（市外出身者の増加に不安がある場合）その理由は？

A 若者が増えると地域の秩序が乱れるから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	18	1.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1426	98.8		
合計		1444	100.0		

【問４０】（市外出身者の増加に不安がある場合）その理由は？

B 若者とコミュニケーションが取れるか不安だから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	15	1.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1429	99.0		
合計		1444	100.0		

【問４０】（市外出身者の増加に不安がある場合）その理由は？

C 若者が地域に溶け込める（馴染む）とは思えないから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	47	3.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1397	96.7		
合計		1444	100.0		

【問４０】（市外出身者の増加に不安がある場合）その理由は？

D 若者は数年で出て行ってしまうと思うから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	37	2.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1407	97.4		
合計		1444	100.0		

【問４０】（市外出身者の増加に不安がある場合）その理由は？

E 若者がいると何となく不安だから

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	8	0.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1436	99.4		
合計		1444	100.0		

【問 4 0】（市外出身者の増加に不安がある場合）その理由は？
 F その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	18	1. 2	100. 0	100. 0
欠損値	システム欠損値	1426	98. 8		
合計		1444	100. 0		

4 テクニカル・ノート

4.1 t 検定

分析対象となる変数がパラメトリック（*データが、正規分布などの特定の分布に従っていると仮定する考え方）である場合に、二つのグループの平均値の差が、「単なる偶然」による差異ではない——即ち「統計的に有意な差」である——ことを確認するための検定方法を t 検定という。「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準(p)」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が「単なる偶然に過ぎない」確率が 5% 以下である場合、「統計的に有意な差異がある」と判断する。

統計的に有意な差があるかどうかを判断するために、二つのグループから「t 値」と呼ばれる指数と、「自由度 (*degree of Freedom: df)」と呼ばれる値を算出し、これらの値に基づいて有意性の判断を行う。

一般的に、「t 値」が十分に大きい場合、二つのグループの平均値の差は「統計的に有意」になる。

4.2 カイ 2 乗 (χ^2) 検定

分析対象となる変数がノンパラメトリック（*データが、正規分布などの特定の分布に従っていることを前提としない考え方）である場合に、二つの変数の分布に違いがあるかどうかを検定する統計手法をカイ 2 乗検定という。カイ 2 乗値が十分に大きいと、「二つの変数の間には違いがある」と考えられるが、その判断が統計的に妥当かどうかは、「統計的有意性」によって確認される。t 検定と同様に、「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準 (p)」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が「単なる偶然に過ぎない」確率が 5% 以下である場合、「統計的に有意な差異がある」と判断する。

統計的に有意差があるかどうかを判断するために、二つのグループのデータから「カイ 2 乗値」と呼ばれる指数と、「自由度 (*degree of Freedom: df)」と呼ばれる値を算出し、これらの値に基づいて有意性の判断を行う。

一般的に、「カイ 2 乗値」が十分な値を取る場合、二つの変数の違いは「統計的に有意」になる。

4.3 相関分析

二つの連続変数^{※1}の間に、単なる偶然ではない関係——即ち「統計的に有意な関係」——が存在するかどうかを確認するための分析手法を相関分析という。「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準 (p)」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が「単なる偶然に過ぎない」確率が 5% 以下である場合、「統計的に有意な分析結果」であると判断する。

また、相関関係の強さは「r」で表わされ、「相関関係が全くない」ことを示す「r=0」から、「非常に強い関係がある」ことを示す「r=1」或は「r=-1」までの値をとる。「r=0」から「r=1」までの正の相関関係は「一方が増えれば他方も増える」という比例的な関係を表し、「r=-1」から「r=0」までの負の相関関係は「一方が増えれば他方が減る」という反比例関係を表す。

通常、「r」が「0.7~1.0」程度であれば「強い相関関係」、「0.4~0.6」程度であれば「中程度の相関関係」、「0.3 以下」であれば「弱い相関関係」があると判断する。

r 値	-1.0… -0.7… -0.6… -0.4… - 0.3… 0 … 0.3 … 0.4 … 0.6 … 0.7 … 1.0
関係の強さ	(負)強い～(負)中程度～(負)弱い～無関係～(正)弱い～(正)中程度～(負)強い

※1 連続変数：身長や体重のように、連続した数値で計測できる変数を連続変数と呼ぶ。データの分散上の特性から、例えば、男女を{ 0, 1 }で表わすような変数（ダミー変数、二値変数と呼ぶ）とは区別される。本報告書で行った相関分析（ピアソンの相関分析）は、連続変数に対する分析手法である。

4.4 回帰分析

関心の対象となる変数を目的変数（従属変数：例「育児満足度」）として設定し、その目的変数に影響を与える要因と考えられる説明変数（独立変数：例「子育て支援サービスの活用」、「子育てボランティアへの関心」）を一つ以上選定して、目的変数（従属変数）と説明変数（独立変数）の間の関係を分析する手法を回帰分析という。

分析結果に示されている主な指標の意味と役割は以下のとおりである。

- F 値：従属変数と独立変数で構成されるモデル全体が、統計的に有意であるか否かを判断するための指数。括弧内は自由度と呼ばれる値で、F 値と自由度の情報からモデルの優位性を判断する。「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準（p）」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が「単なる偶然に過ぎない」確率が 5% 以下である場合、「統計的に有意な分析結果」とであると判断する。
- R^2 値：モデルの説明力を示す指数で、0 から 1 までの値をとる。1 に近いほど説明力が高い。
- 非標準化係数：各独立変数に付随する係数で、回帰係数と呼ばれる。この係数の大きさが、その独立変数と従属変数の関連性の強さを表し、絶対値が大きいほど強い関連性があることを意味する。正の係数は、独立変数と従属変数が「正の相関」にあることを意味し、負の係数は「負の相関」にあることを意味する（4.3 相関分析を参照）。また、各係数に「有意水準（p）」が付されており、統計的有意性が認められない係数については、その数値の大きさによらず、解釈の対象にならない。
- 標準誤差：推定値（回帰係数）の精度を測る指標の一つ。推定値のばらつき程度を表す。この値が小さいほどばらつきが小さく、精度が高い。
- 標準化係数：「非標準化係数」を標準化したもの。単位の異なる複数の独立変数（例：「年収（円）」、「体重（kg）」）をひとつのモデルに投入した場合、非標準化係数でこれらの独立変数の影響力を比較することは出来ないが、標準化係数に注目すれば、「従属変数に対して、どの独立変数の影響力が最も大きいのか、小さいか」といった、独立変数間の比較が可能になる。但し、統計的有意性が認められない——即ち「p」の値が 0.05 よりも大きい——場合は、独立変数の解釈や比較は出来ないで注意が必要である。

